取扱説明書

SANYO

システムコントローラー
品番 VSP-8500

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に
保管してください。

J

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 2
主な特長 7
付属品 7

準備

各部のなまえ 8
通信回線と接続台数 10
通信設定 12
- A 当社のHDR経由で当社のカメラをコントロールする 13
- B 当社のHDR経由で当社のカメラをコントロールし、更に他のカメラを直接コントロールする 15
- C 当社のカメラを直接コントロールする 17
- D 他社のカメラを直接コントロールする 19
- E ビデオテック社製のMatrix SM328Sをコントロールする 21

メニュー設定 23
- 1 言語設定 24
- 2 プロトコル設定 24
- 3 機器の割当設定 25
  - A HDRに通信ラインとアドレスを割り当てる 25
  - B カメラ番号に通信ラインとアドレスを割り当てる 26
- 4 本機のアドレス設定 27
- 5 パスワードの設定 28
  - A 電源投入時のパスワードを登録する 28
  - B メニュー画面へのパスワードを登録する 29
  - C 操作ボタンをキーロックするパスワードを登録する 29
    - ■ キーロックと解除のしかた 30
    - ■ 各パスワードを削除する 30
- 6 他の機能の設定 30
  - A HDRに接続されているカメラ映像をカメラ番号で呼び出す際に、自動的にHDRのメインモニターを切り換える 31
  - B 通信エラーの表示をメニュー表示部に表示させる 31
  - C 入力ミスなどに警告ブザーを鳴らす 32
  - D Jスティックの設定・調整をおこなう 32
  - E メニュー表示部のコントラスト調整をおこなう 33
  - F 操作ボタンの動作テストをおこなう 33
- 7 初期設定 34

操作

ハードディスクデジタルレコーダーの操作 35
- ■ アドレスを設定する 35
- ■ HDRのチャンネルを切り換える 36
- ■ モニター映像を自動的に切り換える 36
- ■ HDRのメニューを設定する 36
- ■ 本機からHDR操作ボタンで操作する 37
- ■ SHIFTボタンと組み合わせて操作する 38
- ■ SETボタンと組み合わせて操作する 39

カメラの操作 40
- ■ 接続しているカメラの呼び出しかた 40
- ■ 本機からJスティックとカメラ操作ボタンで操作する 41
- ■ PTZカメラのパン・シーケンス・ツアーを操作する 43

その他

仕様 44
- ■ 外形寸法図 44

付録 45
- ■ 通信設定一覧表 45
- ■ 特殊コード一覧表 46
  - ERNITEC SATURN 46
  - MARK MERCER 47
  - PELCO 49
  - SENSORMATIC 51
- ■ 当社カメラAUXコマンド一覧表 52
- ■ カメラキーコマンド一覧表 53

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この**「安全上のご注意」**は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

本体について

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 分解したり、改造しない

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ ぬらさない

- 本機は防水防塵構造になっていませんので、雨の当たる場所や湿気の多い場所、ほこりやちりの多い場所に設置しないでください。
  火災、感電の原因となります。
  風呂場、シャワー室には設置しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。
特にACアダプターや接続ケーブルには絶対に触れないでください。
感電の原因になります。

■ 不安定な場所に設置しない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。
引火、爆発の原因となります。

露つき（結露）のご注意

よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、本体内部にも水滴がつくことがあります。
このような状態を露つき（結露）といいます。
本機に露つきが起きた状態で使用すると、故障する場合があります。
電源を切っている状態で、部屋を急激に暖房するなど、急に周りの温度が変わるときは露つきにご注意ください。
通電時は露つきは起こりません。

露つきが起こりそうなときは・・・

本機の電源を切って、設置場所に1～2時間放置してからご使用ください。

⚠注意

■ 持ち運びの注意

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認のうえ、落としたり、大きな衝撃を与えないようにご注意ください。

■ お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。ACアダプターを接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次のような場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 温度および湿度変化の激しい場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動のある場所

付属のACアダプターについて

⚠危険

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

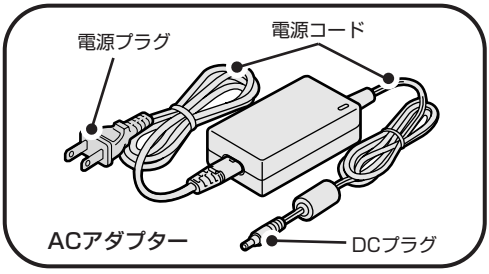
火災、感電の原因となります。

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。

■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場やシャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



付属のACアダプターについて

⚠警告

■ 付属のACアダプター以外は使用しない

付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用すると、電源コードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となります。

■ 電源コードについて

電源コードは束ねて使用しないでください。発熱や火災、感電の原因になります。

■ コンセント付き延長コードをご使用の場合

接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力を超えないように注意してください。
定格電力を超えると火災の原因となります。

■ 電源プラグについて

異常状態のまま使用しないでください。次のような場合は火災、感電の原因になります。

- 電源プラグとコンセントの差し込み部分にほこりなどを付着させないでください。双方の接触部分がほこりや汚れている場合は、ショートや発熱を起こしますので、乾いた布で取り除いてください。
- 湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使用している場合は、定期的に電源プラグを抜いて、プラグ間に付着したほこり・汚れを取り除いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま、本機の電源入力端子からDCプラグを抜いた状態にしないでください。ぬれた手で触れたり、お子様が口に入れたりすると感電の原因となります。
- 電源プラグをコンセントの根元まで接続しても、ゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。接触不良があった場合は、お買い上げ販売店または、工事店にご連絡ください。

⚠注意

■ 他の機器に接続しない

付属のACアダプターおよび電源コードは本機専用です。他の機器に接続すると、火災、感電の原因になります。

■ 電源コードについて

次のように電源コードを傷めたりすると、火災、感電の原因になります。電源コードが傷んだ場合は、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具、発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで使用しないでください。
- ACアダプター本体の重さで電源コードに負担がかからないようにしてください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■ 電源コードの接続について

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。電源コードなどに足を引っ掛けると機器の落下や転倒により、けがの原因になることがあります。

■ 電源プラグはコンセントに確実に接続する

不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。

■ 不安定な場所に置かない

安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下や倒れたりしてけがや故障の原因になります。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

3 水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

主な特長

- **ジョイスティックでパン／チルト／ズーム操作が可能**
- **言語選択（英語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語）が可能**
- **高速ドーム・受信機の広範囲制御**
- **RS485（VIDEO/TEREMETRY）通信回線の接続が可能**
- **3段階のパスワード設定が可能**

スタート時のパスワード設定：
電源投入時にパスワード入力表示になります。

パスワード設定：
機器の設定時にパスワード入力表示になります。

キー操作ロック設定：
キー操作をパスワードでロックすることが可能です。

商標について

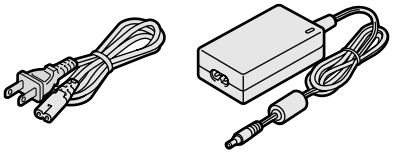
本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Licensed Under U.S. Patent No. 4974088

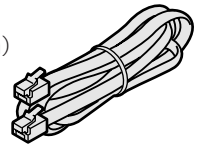
付属品

付属品が揃っていることをお確かめください。

ACアダプター／電源コード

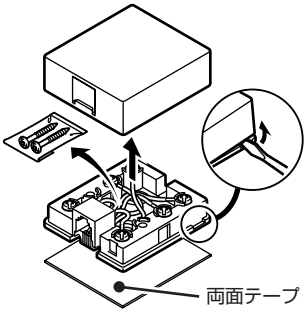


モジュラーケーブル×6
（クロスタイプ：150cm）



- 通信変換コネクター×6
- ネジ×2
- 両面テープ×1

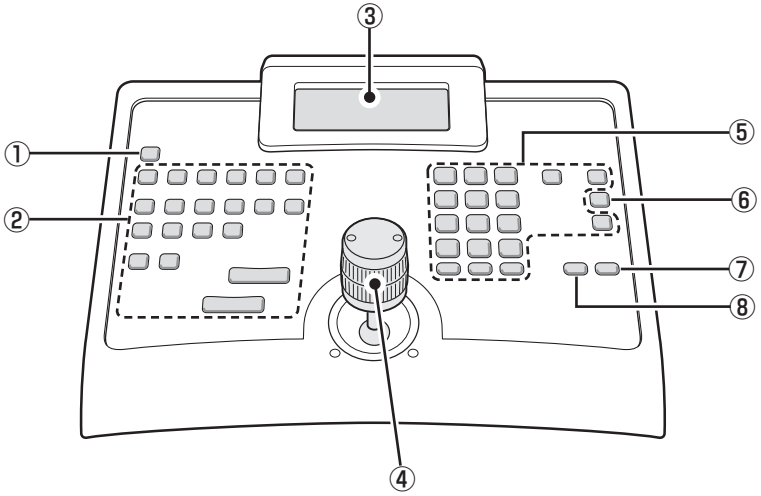
（分解方法）



各部のなまえ

前面部

本機には電源スイッチはありません。
電源の入切は、ACアダプターのDCプラグの抜き差しでおこなってください。



① ESCボタン（Escape）

設定中のメニューを終了し、前メニューに戻るときや初期表示に戻るときに使用します。

② カメラ操作ボタン（P41）

③ メニュー表示部

- 本機に電源が入ると、バージョン情報を表示後、初期表示になります。
- 初期表示の最下段は、数字ボタンなどの入力を誤ると **“Line V ツウシンエラー”** などのメッセージが表示されます。また、入力の誤りを警告する **“ブザー”** 設定もあります。（P32）

（バージョン情報）

```
SANYO VSP-8500
ｼｽﾃﾑ ｺﾝﾄﾛｰﾗ
```

（初期表示）

```
DVR          5
CH           ???
CAM No.      ???
```

④ ジョイスティック（Jスティック）

カメラのパン、チルト、ズーム操作ができます。さらにメニュー表示部に表示されたメニュー選択などで使用します。

- **左右操作**：パン
- **前後操作**：チルト
- **回転**：ズーム

⑤ HDR操作ボタン（P37）

DVR：ハードディスクデジタルレコーダー

⑥ チャンネル／カメラボタン（CH/CAM）

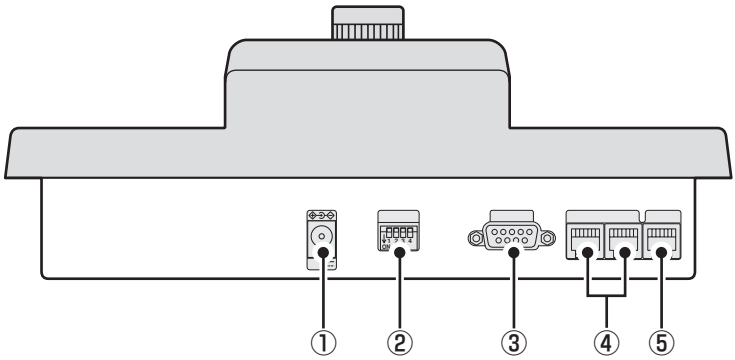
⑦ ENTERボタン

メニュー設定を決定するときに使用します。

⑧ CLEARボタン

パスワードなどの数字入力ミスの訂正に使用します。

後面部

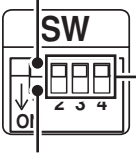


① 電源端子（DC12V）

付属のACアダプターのDC端子側を接続します。

② ディップスイッチ（SW）

システムコントローラとして使用する場合は、この位置にしてください。（OFF）



各終端設定のON/OFF設定に使用します。（終端スイッチ）

パソコンで本機のシステムをアップグレードする場合はこの位置にしてください。

③ パソコン接続端子（COM：RS-232C）

パソコンとの接続に使用します。

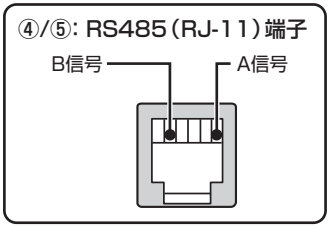
④ カメラ通信端子（TELEMETRY A/B）

本端子には付属または別売のモジュラーケーブルと付属通信変換コネクターを使用して接続してください。

- **A端子**：カメラ用ケーブルを接続します。
- **B端子**：カメラ用ケーブルを接続します。

⑤ 映像通信端子（VIDEO）

本機とHDRなどの映像機器を接続するときは、付属または別売のモジュラーケーブルと付属通信変換コネクターを使用して接続してください。



通信回線と接続台数

本機は後面の映像通信端子(VIDEO)にハードディスクデジタルレコーダー、カメラ通信端子(TELEMETRY A/B)にはPTZカメラまたはズームカメラを複数接続して操作することができます。
各機器間を接続後はアドレスと終端設定が必要です。接続機器の設定はお手持ちの取扱説明書をご参照ください。

■ 接続台数

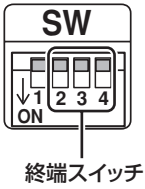
- 本機の接続台数は最大5台（アドレス0～4）
- 本機と映像通信端子間の接続は最大99台（アドレス1～99、ハードディスクデジタルレコーダー1～98）
- 本機とカメラ通信端子間の接続は最大255台（SSPアドレス1～127）
- システム内の総接続数は最大256台

■ 終端設定

本機の映像通信端子とカメラ通信端子A/Bから複数の機器をループで接続した場合、接続している機器の両端でデータが反射して他のデータに影響を与えるため、正しくデータが伝わらなくなります。
正しく通信ができるようにするには、複数接続した機器の両端の終端スイッチをそれぞれ**「ON」**にし、両端内でループ接続されているすべての機器の終端スイッチを**「OFF」**にしてください。

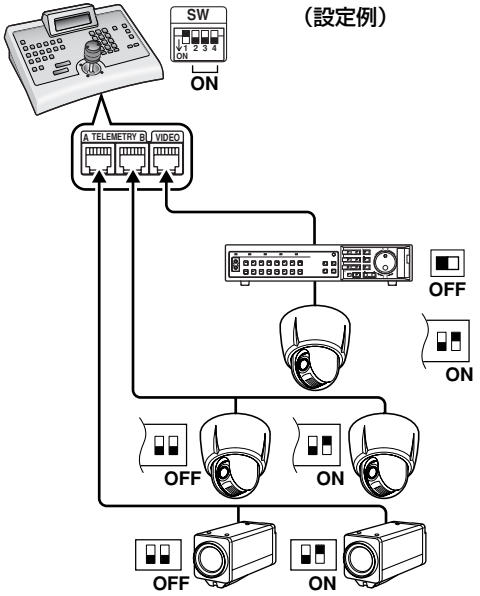
後面部のディップスイッチ2から4までが終端設定スイッチです。

- SW1：通常操作選択用
- **SW2：カメラ通信端子Aの終端設定用**
- **SW3：カメラ通信端子Bの終端設定用**
- **SW4：映像通信端子の終端設定用**



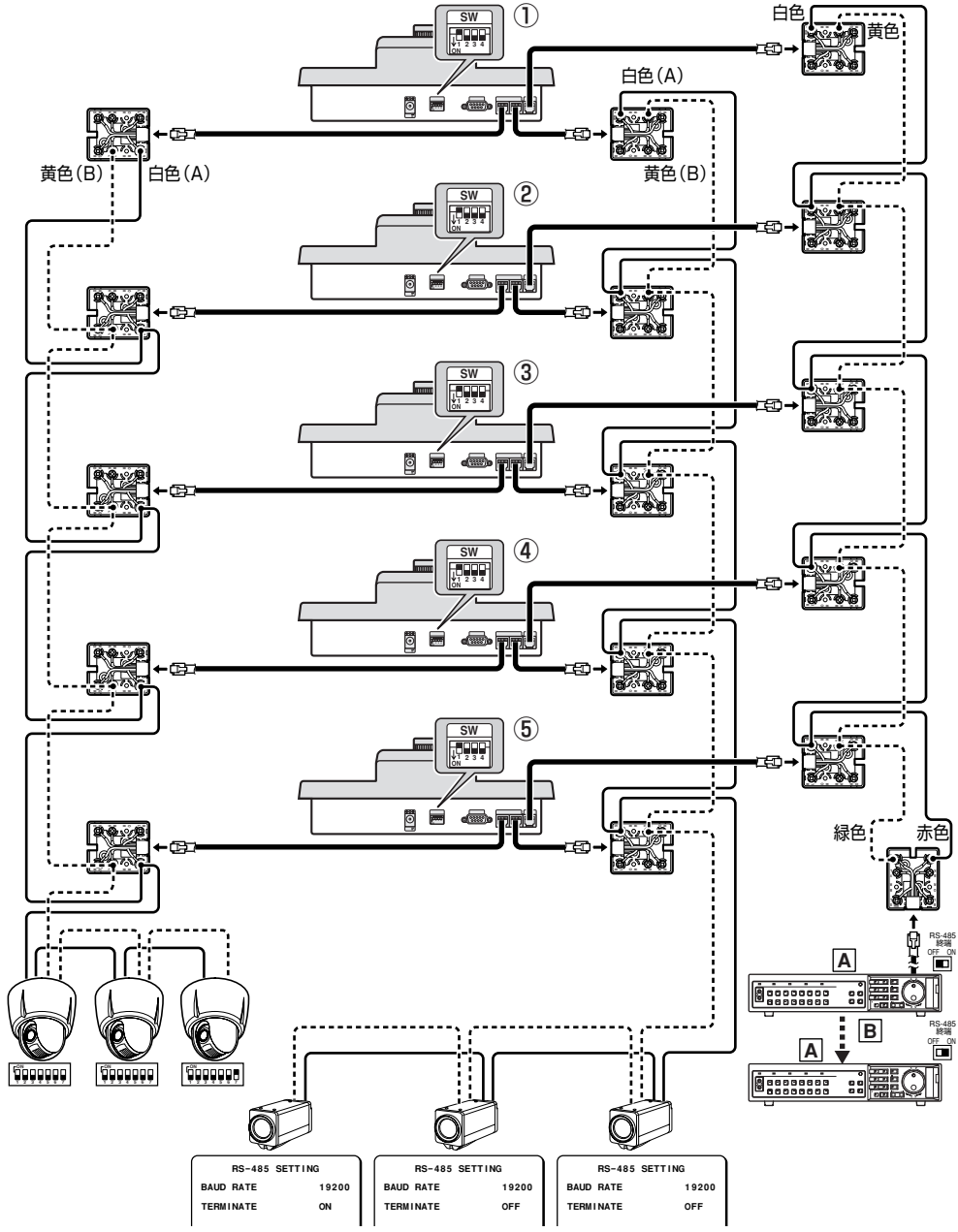
終端スイッチ

（設定例）



通信回線と接続台数（つづき）

■ 設定例



通信設定

接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。
詳しくは各ページをご参照ください。

A 当社のHDR経由で当社のカメラをコントロールする（P13）
☞ 使用する端子：映像通信端子

B 当社のHDR経由で当社のカメラをコントロールし、更に他のカメラを直接コントロールする（P15）
☞ 使用する端子：映像通信端子とカメラ通信端子B

C 当社のカメラを直接コントロールする（P17）
☞ 使用する端子：カメラ通信端子A

D 他社のカメラを直接コントロールする（P19）
☞ 使用する端子：カメラ通信端子A

E ビデオテック社製のMatrix SM328Sをコントロールする（P21）
☞ 使用する端子：映像通信端子

A 当社のHDR経由で当社のカメラをコントロールする

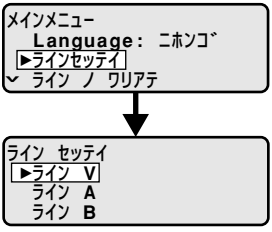
1 接続のしかたの❶❷❸の接続と設定をする（P14）

2 MENUボタンを押す

「メインメニュー」を表示します。

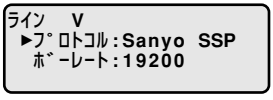
3 Jスティック（下）で“ラインセッテイ”を選び、ENTERボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。



4 Jスティックで“ライン V”を選び、ENTERボタンを押す

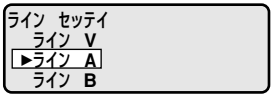
「ライン V」を表示します。



必要に応じてボーレートの設定をしてください。

5 Jスティック（右）でプロトコルの“Sanyo SSP”を選び、ESCボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。

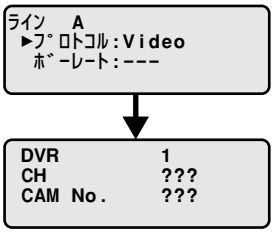


6 Jスティック（下）で“ライン A”を選び、ENTERボタンを押す

「ライン A」を表示します。

7 Jスティック（右）でプロトコルの“Video”を選び、ESCボタンをくり返し押す

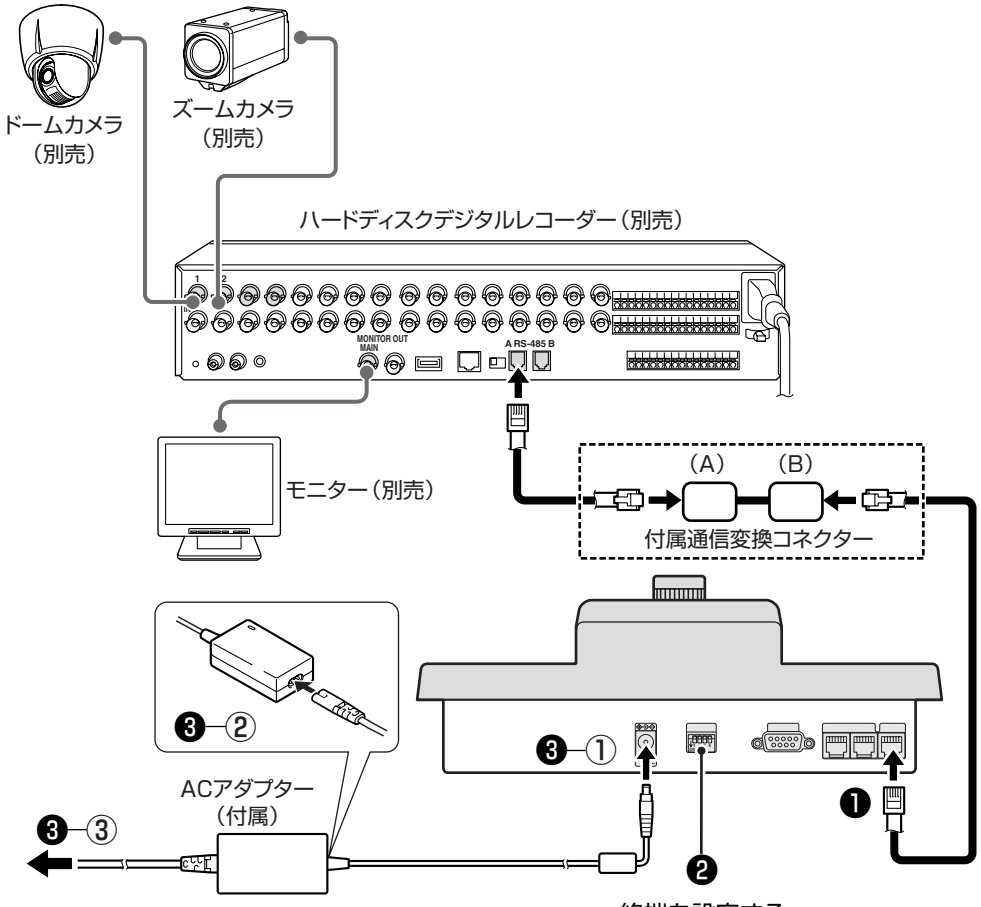
初期表示になります。



8 HDRを操作する

詳しくはP37をご参照ください。

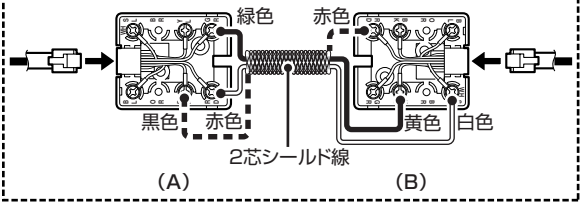
接続のしかた



終端を設定する

SW1：OFF（固定）
SW2：OFF（カメラA用）
SW3：OFF（カメラB用）
SW4：ON（映像用）

通信変換コネクターの接続



B 当社のHDR経由で当社のカメラをコントロールし、更に他のカメラを直接コントロールする

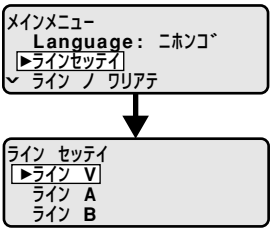
1 接続のしかたの❶❷❸の接続と設定をする（P16）

2 MENUボタンを押す

「メインメニュー」を表示します。

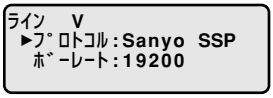
3 Jスティック（下）で “ラインセッテイ” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。



4 Jスティックで “ライン V” を選び、ENTERボタンを押す

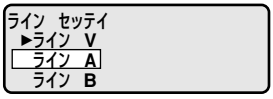
「ライン V」を表示します。



必要に応じてボーレートの設定をしてください。

5 Jスティック（右）でプロトコルの “Sanyo SSP” を選び、ESCボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。

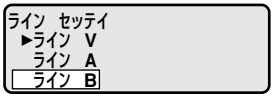


6 Jスティック（下）で “ライン A” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン A」を表示します。

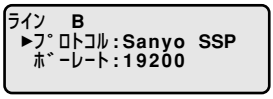
7 Jスティックで プロトコルの “Video” を選び、ESCボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。



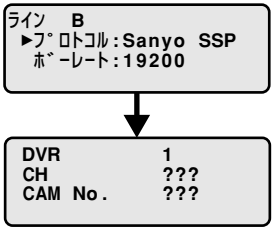
8 Jスティック（下）で “ライン B” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン B」を表示します。



9 Jスティック（右）で プロトコルの “例：Sanyo SSP” を選び、ESCボタンをくり返し押す

初期表示になります。

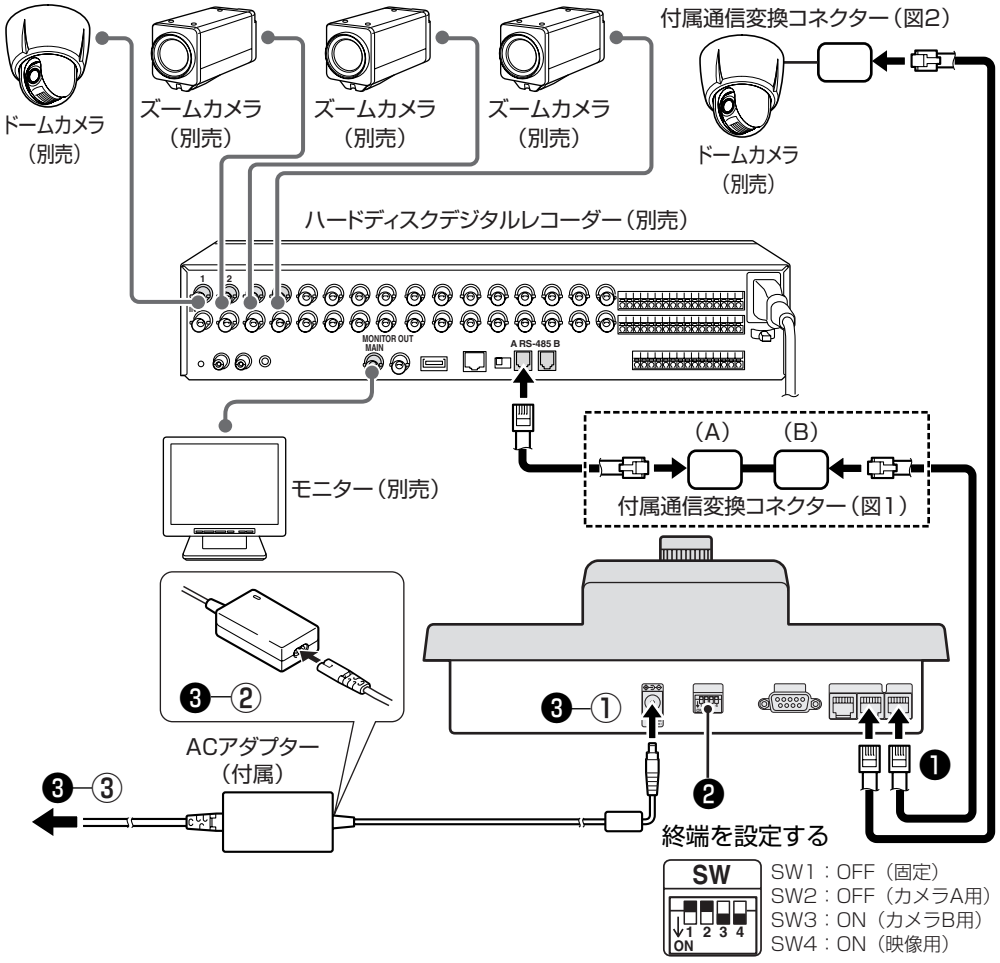


- 他のカメラを操作するときは、該当するプロトコルを選択してください。

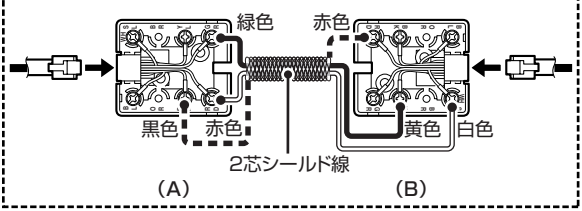
10 HDRを操作する

詳しくはP37をご参照ください。

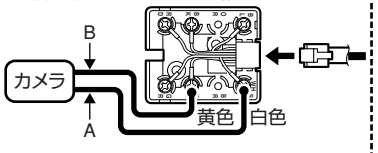
接続のしかた



通信変換コネクターの接続（図1）



通信変換コネクターの接続（図2）



C 当社のカメラを直接コントロールする

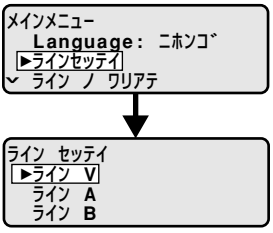
1 接続のしかたの❶❷❸の接続と設定をする（P18）

2 MENUボタンを押す

「メインメニュー」を表示します。

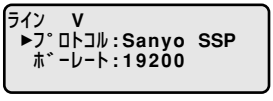
3 Jスティック（下）で “ラインセッテイ” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。



4 Jスティックで “ライン V” を選び、ENTERボタンを押す

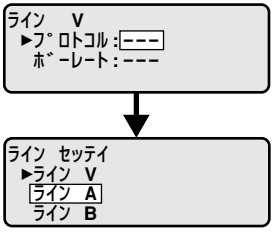
「ライン V」を表示します。



必要に応じてボーレートの設定をしてください。

5 Jスティック（右）でプロトコルを “Sanyo SSP” から “ーーー” に切り換えて、ESCボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。

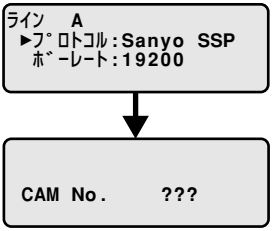


6 Jスティック（下）で “ライン A” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン A」を表示します。

7 Jスティック（右）で プロトコルの “Sanyo SSP” を選び、ESCボタンをくり返し押す

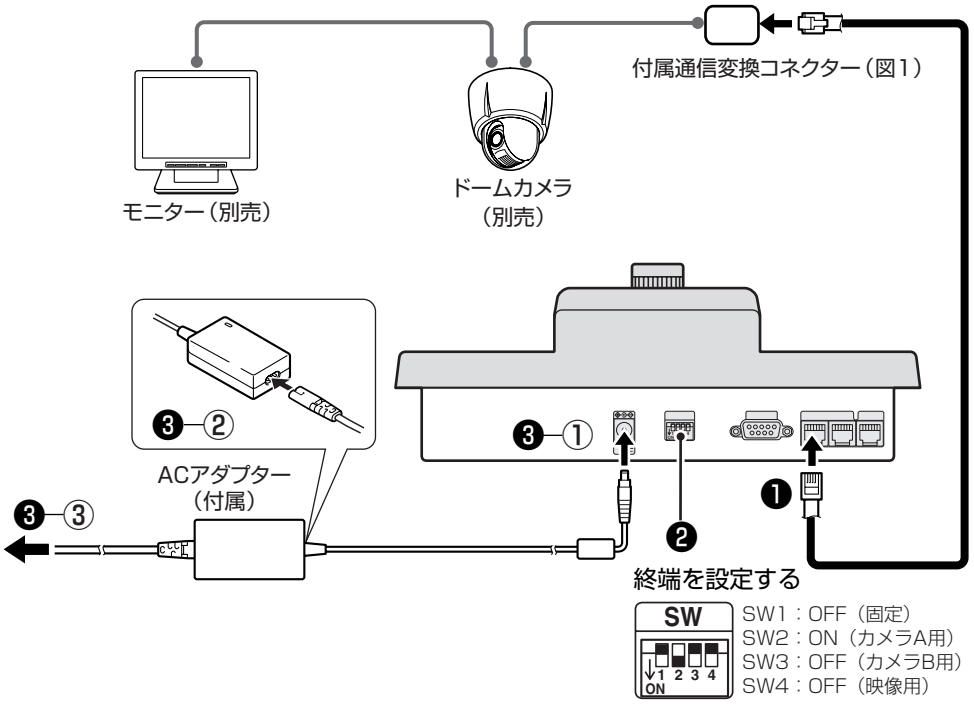
初期表示になります。

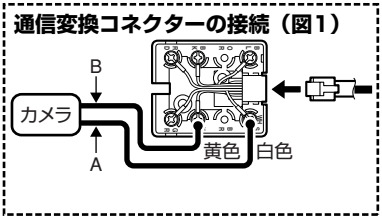


8 カメラを操作する

詳しくはP41をご参照ください。

接続のしかた


付属通信変換コネクター（図1）
モニター（別売）
ドームカメラ
（別売）
❸—②
ACアダプター
（付属）
❸—③
❸—①
❶
❷
終端を設定する
SW
1 2 3 4
ON
SW1：OFF（固定）
SW2：ON（カメラA用）
SW3：OFF（カメラB用）
SW4：OFF（映像用）


通信変換コネクターの接続（図1）
B
カメラ
A
黄色
白色

D 他社のカメラを直接コントロールする

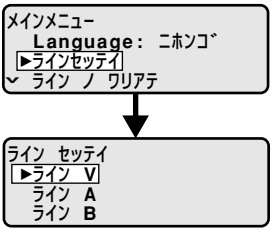
1 接続のしかたの❶❷❸の接続と設定をする（P20）

2 MENUボタンを押す

「メインメニュー」を表示します。

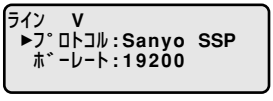
3 Jスティック（下）で “ラインセッテイ” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。



4 Jスティックで “ライン V” を選び、ENTERボタンを押す

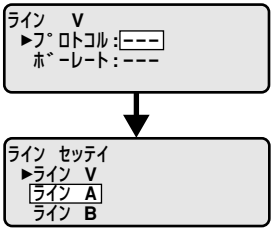
「ライン V」を表示します。



必要に応じてボーレートの設定をしてください。

5 Jスティック（右）でプロトコルを “Sanyo SSP” から “ーーー” に切り換えて、ESCボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。

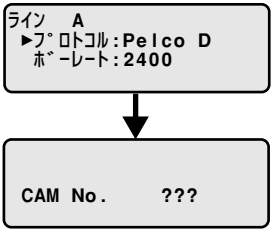


6 Jスティック（下）で “ライン A” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン A」を表示します。

7 Jスティック（右）で プロトコルの “例：Pelco D” を選び、ESCボタンをくり返し押す

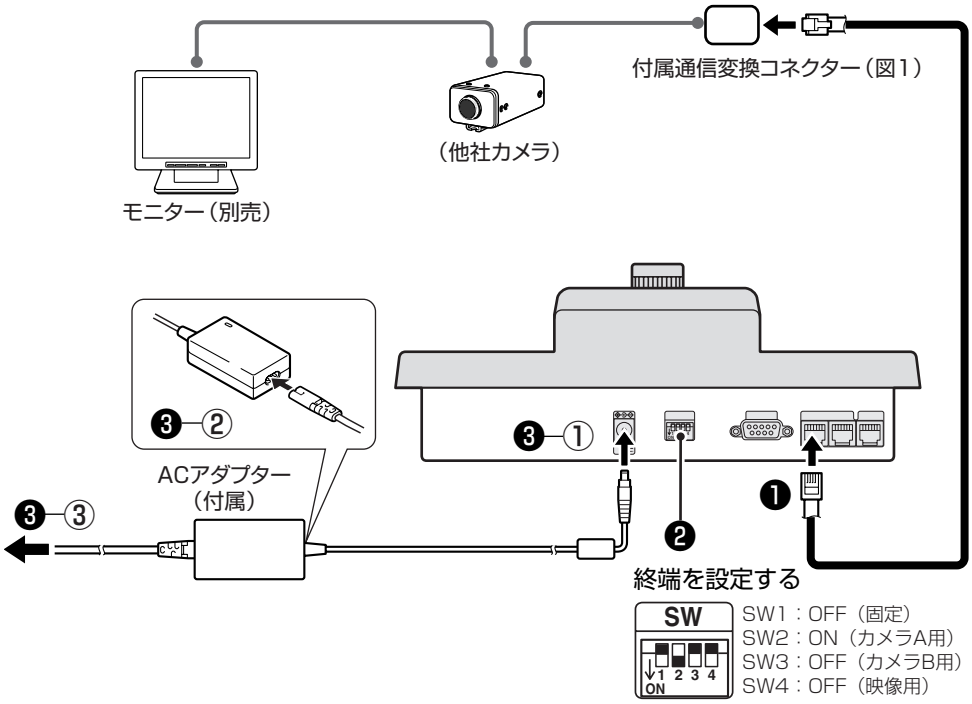
初期表示になります。

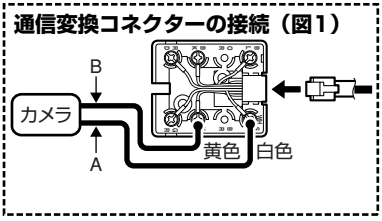


8 カメラを操作する

詳しくはP41をご参照ください。

接続のしかた


付属通信変換コネクター（図1）
（他社カメラ）
モニター（別売）
❸—②
ACアダプター
（付属）
❸—③
❸—①
❶
❷
終端を設定する
SW
1 2 3 4
ON
SW1：OFF（固定）
SW2：ON（カメラA用）
SW3：OFF（カメラB用）
SW4：OFF（映像用）


通信変換コネクターの接続（図1）
B
カメラ
A
黄色
白色

E ビデオテック社製のMatrix SM328Sをコントロールする

1 接続のしかたの❶❷❸の接続と設定をする（P22）

2 MENUボタンを押す

「メインメニュー」を表示します。

3 Jスティック（下）で“ライン ノ ワリアテ”を選び、ENTERボタンを押す

「ライン ノ ワリアテ」を表示します。

```
ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ
  Language: ﾆﾎﾝｺﾞ
  ﾗｲﾝｾｯﾃｲ
▶ﾗｲﾝ ﾉ ﾜﾘｱﾃ
```

4 Jスティック（下）で“ハードディスクレコーダー”を選び、ENTERボタンを押す

割り当て表示になります。

```
ﾗｲﾝ ﾉ ﾜﾘｱﾃ
 ▶ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾚｺｰﾀﾞｰ
  ｶﾒﾗ
  ｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ
```

5 DVRボタンを押し、数字ボタンでDVRアドレス（例：99）を入力して、ENTERボタン押す

数字ボタン1を押してラインVを選択します。

DVR

```
HDR ﾜﾘｱﾃ
 ▶HDR 1 : ﾗｲﾝ V
ﾗｲﾝ: 1.Video 0.ﾅｼ
MENU: ﾏｰｸ ｼﾏｽ
```

↓

```
HDR ﾜﾘｱﾃ
 ▶HDR _ :
ﾗｲﾝ: 1.Video 0.ﾅｼ
MENU: ﾏｰｸ ｼﾏｽ
```

↓

```
HDR ﾜﾘｱﾃ
 ▶HDR 99: ﾗｲﾝ V
ﾗｲﾝ: 1.Video 0.ﾅｼ
MENU: ﾏｰｸ ｼﾏｽ
```

6 ESCボタンを繰り返し押し、初期表示にする

セットアップ設定が終了しました。

7 DVRボタンを押し、数字ボタンでDVRアドレス（例：99）を入力して、ENTERボタンを押す

Matrix SM328Sとの接続が完了しました。

DVR

```
DVR          99
CH           ???
CAM No.      ???
```

8 SETボタンを押しながら、数字ボタン1を押す

モニター選択を表示します。

SET

```
1.ﾓﾆﾀｰ 1-8
4.◀    5.▲   6.▶
7.PrvAl 8.ｻｰﾁ 9.NxtA
-.ｺﾋﾟｰ  0.▼   +.SLOn
```

9 出力するモニターを数字ボタン（例：3）で入力し、ENTERボタンを押す

```
ｼｭﾂﾘｮｸ ﾓﾆﾀｰ 3
      (1-8)
```

↓

```
DVR          99
CH           ???
CAM No.      ???
```

10 CH/CAMボタンを押し、数字ボタン（例：5）で入力して、ENTERボタンを押す

選択したカメラ映像にモニターが切り換わります。最大80まで切り換えることができます。

CH/CAM

```
DVR          99
CH           5
CAM No.
```

- モニターのチャンネルを自動で切り換える場合は、SEQボタンを押してください。

Matrix SM328S経由ではカメラ操作はできません。

■Matrix SM328Sのセットアップ

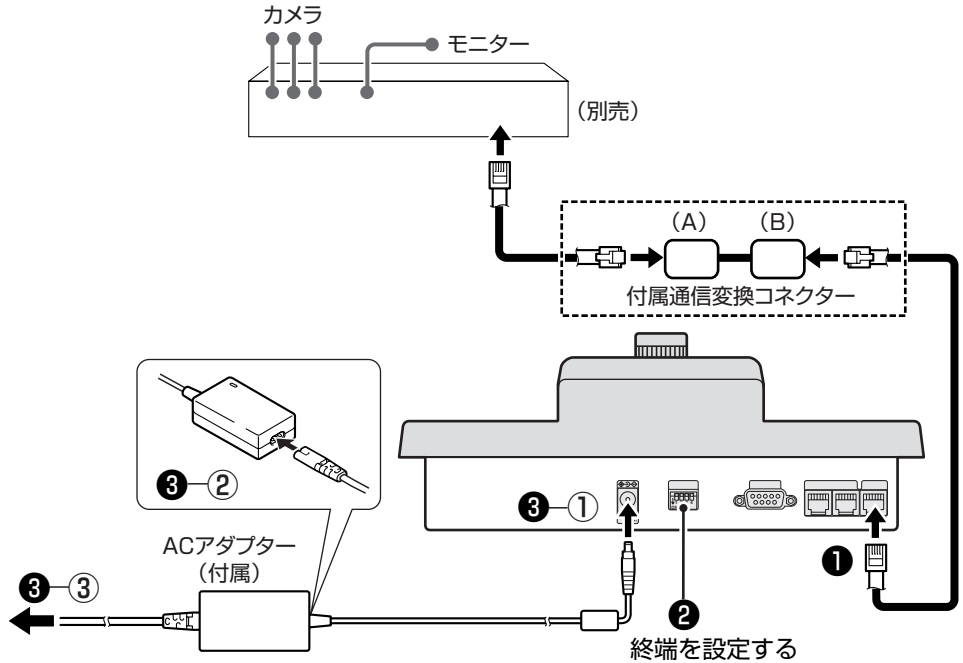
1 SETを押しながらMENUボタンを押す
マトリクスのメニュー画面が開きます。

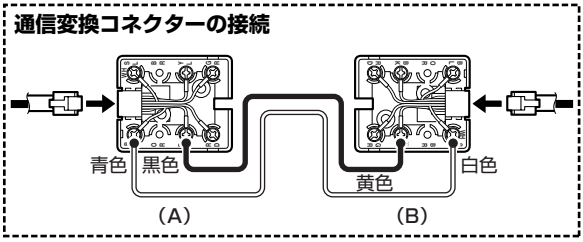
2 ENDボタンを押す
数字ボタンの入力画面が表示します。

3 メニュー画面から数字ボタン（例：7）などでメニューを選択する
数字ボタンの入力画面が表示します。
- Jスティック：上下左右操作可能
- 数字ボタン：1〜0入力可能
- +/−ボタン
- CLEAR、ENTER：メニューの選択

操作についての詳細はMatrix SM328Sの説明書をご参照ください。

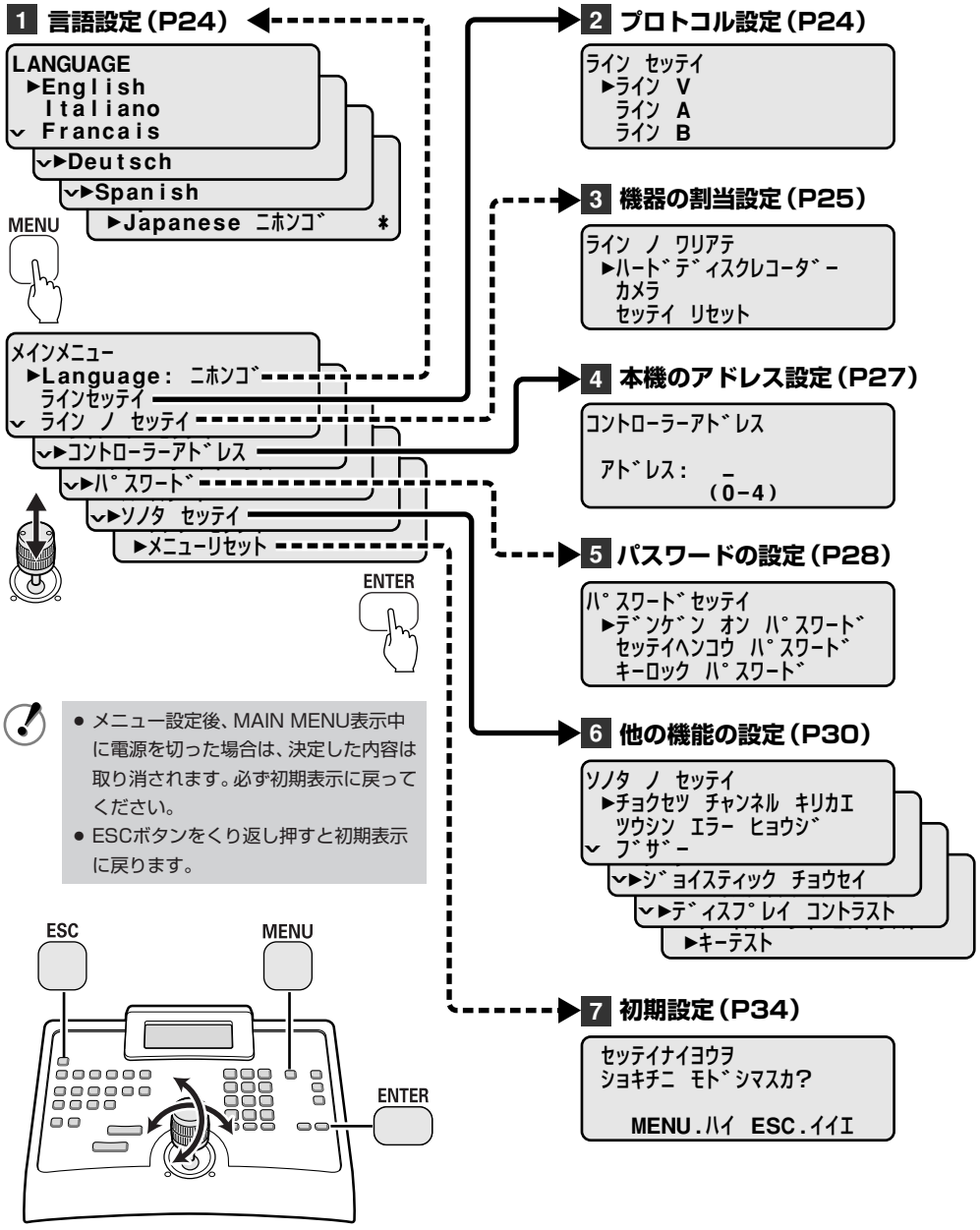
接続のしかた





メニュー設定

MENUボタンを押すと、メニュー表示部にメニューが表示されます。



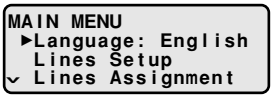
- メニュー設定後、MAIN MENU表示中に電源を切った場合は、決定した内容は取り消されます。必ず初期表示に戻ってください。
- ESCボタンをくり返し押すと初期表示に戻ります。

1 言語設定

1 メニューボタンを押す

「メインメニュー」を表示します。

MENU



2 Jスティック（上下）で “Language” を選び、ENTERボタンを押す

ENTER

3 Jスティック（上下）で言語を選び、ENTERボタンを押す

表示されている言語が選択した言語に変わります。

4 ESCボタンを押す

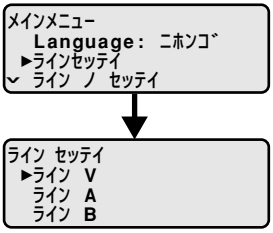
設定が保存され「メインメニュー」になります。

ESC

2 プロトコル設定

1 Jスティック（上下）で “ラインセッテイ” を選び、ENTERボタンを押す

「ライン セッテイ」を表示します。



2 Jスティック（上下）で “ライン V” などを選び、ENTERボタンを押す

各ラインのプロトコル選択表示になります。

HDRを接続しない場合は “ライン A” を選択してください。

3 Jスティック（右）で “プロトコル” を選ぶ

ボーレートも同時に切り換わります。

- **HDR経由でカメラを接続する場合は**

  ライン Aに使用するプロトコルを**“Video”**に設定してください。

- **ボーレートの変更**

  Jスティック（上下）で **“ボーレート”** を選び、Jスティック（右）で設定値を選ぶ

4 ESCボタンをくり返し押す

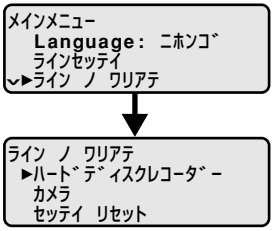
初期表示になります。

同じ手順で他のラインを変更してください。

3 機器の割当設定

1 Jスティック（上下）で“ライン ノ ワリアテ”を選び、ENTERボタンを押す

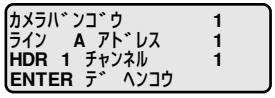
「ライン ノ ワリアテ」を表示します。



2 Jスティック（上下）で割り当てる機器（“ハードディスクレコーダー”または“カメラ”）を選び、ENTERボタンを押す

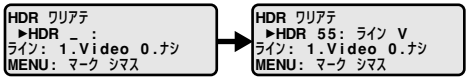
（HDRの場合）

（カメラの場合）



A HDRに通信ラインとアドレスを割り当てる

① DVRボタンを押し、数字ボタン（例：55）で番号を入力してENTERボタンを押す（割当：1～99）



- Jスティック（上下）でも割り当てる番号を表示させることができます。

② 通信ラインの設定

数字ボタンの“0”か“1”を押す

- 0：“シヨウ シマセン”を表示します。
- 1：“ライン V”を表示します。

■ HDRに一度に同じラインを割り当てる

例：HDRの3から9のライン Vを“シヨウ シマセン”に一括変換する

設定は連番しかできません。

① Jスティックでライン Vに設定する最初のHDR番号（例：3）を選び、MENUボタンを押す

最下段の表示が“(マーク サレマシタ)”に変わります。

② Jスティックでライン Vの最後のHDR番号（例：9）を選び、数字ボタン（例：0）を選ぶ

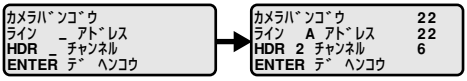
ライン選択：

- 1：Video (ライン V)
- 0：ナシ (シヨウ シマセン)

HDRの3から9までが“シヨウ シマセン”に一括変換されます。

B カメラ番号に通信ラインとアドレスを割り当てる

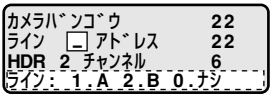
① CH/CAMボタンを押し、数字ボタン（例：22）で番号を入力してENTERボタンを押す（割当：1～255）



●Jスティック（上下）でもカメラ番号を表示させることができます。

② ENTERボタンを押す

“ライン” のカーソルが点滅します。



③ 通信ラインの設定

数字ボタンの “0”、“1” か “例：2” を押す

ライン選択：

●0：ナシ (シヨウ シマセン)

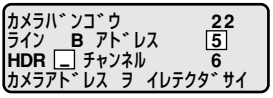
●1：A (ライン A) ●2：B (ライン B)

“アドレス” のカーソルが点滅します

④ 数字ボタンでアドレス（例：5）を入力し、ENTERボタンを押す（アドレス：1～255）

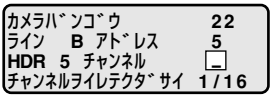
“HDR” のカーソルが点滅します。

プロトコル制御ができないカメラは “0” を入力してください。



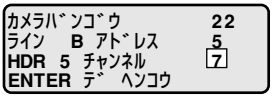
⑤ 数字ボタンでHDR（例：5）を入力し、ENTERボタンを押す（アドレス：1～99）

“チャンネル” のカーソルが点滅します。



HDRにカメラを接続していないときは、“0” を入力してください。

⑥ 数字ボタンでチャンネル（例：7）を入力し、ENTERボタンを押す（チャンネル：1～16）



●項目ごとの変更は、ENTERボタンを押し続けてカーソルを移動させてください。

⑦ ESCボタンを押す

「ライン ノ ワリアテ」を表示します。

ESCボタンをくり返し押して、初期表示にしてください。

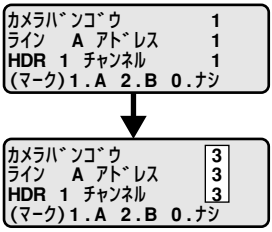
■ カメラに一度に同じラインを割り当てる

例：カメラの3から8をライン Bに一括変換する

設定は連番しかできません。

① Jスティックでライン Bに設定する最初のカメラ番号（例：3）を選び、MENUボタンを押す

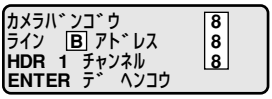
最下段の表示が “(マーク) 1.A 2.B 0.ナシ” に変わります



（つづき）

② **Jスティックでライン Bの最後のカメラ番号（例：8）を選び、数字ボタン（例：2）を選ぶ**

カメラの3から8までがライン Bに一括変換されます。



確認：Jスティック（上下）の操作で“カメラバンゴウ”が3になるとライン Bになり、“カメラバンゴウ”が9になるとライン Aになります。ラインの一括変換状態を確認できます。

ただし、あらかじめ設定していた内容は初期に戻ります。

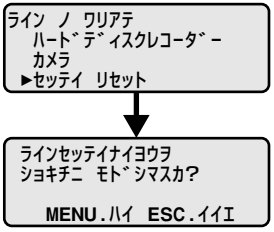
■ 設定した内容を初期値に戻す

① **ESCボタンで「ライン ノ ワリアテ」メニューを表示させ、Jスティック(下)で“セッテイ リセット”を選び、ENTERボタンを押す**

② **“ラインセッテイナイヨウヲ ショキチニ モドシマスカ?”でMENU（ハイ）ボタンを押す**

初期値に戻ります。

設定状態で進める場合はESC（イイエ）ボタンを押してください。

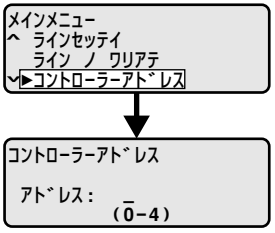


4 本機のアドレス設定

ご購入時は本機のアドレスは“0”に設定されています。複数台のコントローラを使用する場合はアドレスを変更してください。
アドレスは0から4の範囲で割り当ててください。

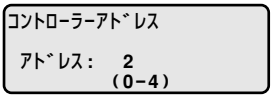
1 **Jスティック（上下）で“コントローラーアドレス”を選び、ENTERボタンを押す**

「コントローラーアドレス」を表示します。



2 **数字ボタンでアドレス（例：2）を入力し、ENTERボタンを押す**

アドレス2が登録され、「メインメニュー」に戻ります。



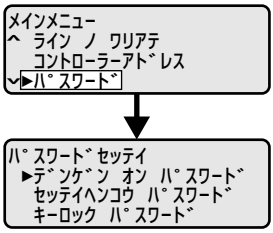
5以上のアドレスの設定はできません。

5 パスワードの設定

本機にパスワードを設定することができます。

1 **Jスティック（上下）で“パスワード”を選び、ENTERボタンを押す**

「パスワードセッテイ」を表示します。



2 **Jスティック（上下）でパスワードの登録項目を選び、ENTERボタンを押す**

A **電源投入時のパスワードの登録（P28）**

- デンゲン オン パスワード

B **メニュー画面へのパスワードの登録（P29）**

- セッテイヘンコウ パスワード

C **操作ボタンをキーロックするパスワードの登録（P29）**

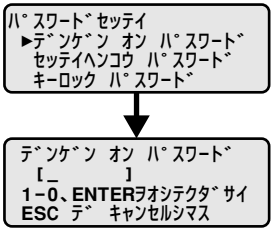
- キーロック パスワード

- 各パスワードは忘れないようにメモしてください。また、安全のため都度パスワードの変更をお勧めします。
- ご購入時のパスワードは設定されていません。
- パスワードを設定すると、例えば電源投入時にパスワードの問い合わせの入力画面が表示しますので、設定したパスワードを入力してください。
- 間違ったパスワードを入力すると、“パスワードガチガイマス!” と表示しますので、正しいパスワードを入力してください。

A 電源投入時のパスワードを登録する

① Jスティック（上下）で“デンゲン オン パスワード”を選び、ENTERボタンを押す

「デンゲン オン パスワード」を表示します。

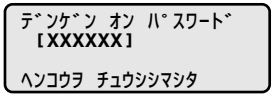


② 数字ボタンでパスワード（例：123456）を入力し、ENTERボタンを押す

“パスワードヲ ヘンコウシマシタ”を約3秒点滅し、入力したパスワードが記憶され、「パスワードセッテイ」に戻ります。

● パスワードの変更を中止する場合は、ESCボタンを押す

パスワードが「XX...」表示になり、**“ヘンコウヲ チュウシシマシタ”**が点滅後、「パスワードセッテイ」に戻ります。



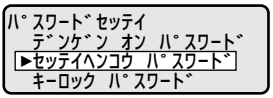
③ ESCボタンを押す

初期画面に戻るとパスワードが保存されます。

B メニュー画面へのパスワードを登録する

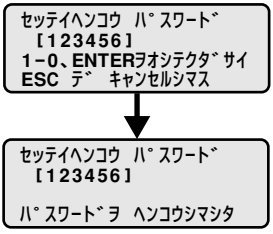
① Jスティック（上下）で“セッテイヘンコウ パスワード”を選び、ENTERボタンを押す

「セッテイヘンコウ パスワード」を表示します。



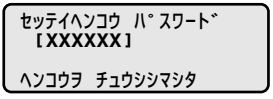
② 数字ボタンでパスワード（例：123456）を入力し、ENTERボタンを押す

“パスワードヲ ヘンコウシマシタ”を約3秒点滅し、入力したパスワードが記憶され、「パスワードセッテイ」を表示します。



●パスワードの変更を中止する場合は、ESCボタンを押す

パスワードが「XX...」表示になり、**“ヘンコウヲ チュウシシマシタ”**が点滅後、「パスワードセッテイ」に戻ります。



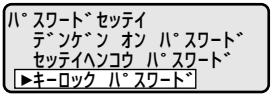
③ ESCボタンを押す

初期画面に戻るとパスワードが保存されます。

C 操作ボタンをキーロックするパスワードを登録する

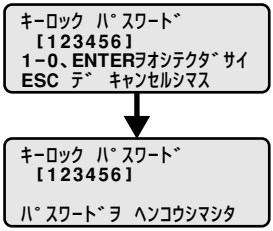
① Jスティック（上下）で“キーロック パスワード”を選び、ENTERボタンを押す

「キーロック パスワード」を表示します。



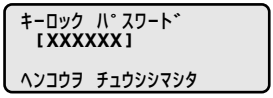
② 数字ボタンでパスワード（例：123456）を入力し、ENTERボタンを押す

“パスワードヲ ヘンコウシマシタ”を約3秒点滅し、入力したパスワードが記憶されます。



●パスワードの変更を中止する場合は、ESCボタンを押す

パスワードが「XX...」表示になり、**“ヘンコウヲ チュウシシマシタ”**が点滅後、「パスワードセッテイ」に戻ります。



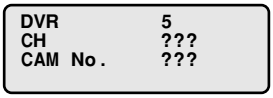
③ ESCボタンを押す

初期画面に戻るとパスワードが保存されます。

■ キーロックと解除のしかた

（キーロック）

① パスワードを設定し、ESCボタンを押して初期表示に戻る



② SETボタンを押しながらSEQボタンを押す

全ての操作キーとJスティックがロックされ、操作できなくなります。

（キーロック解除）

③ 数字ボタンでキーロックのパスワード（例：123456）を入力し、ENTERボタンを押す

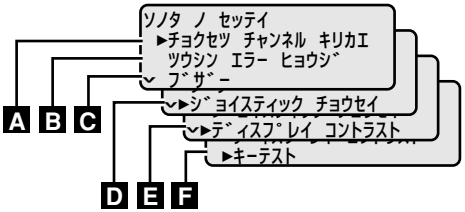
キーロックが解除されて初期表示に戻ります。

■ 各パスワードを削除する

パスワード登録の入力画面から何も入力せずにENTERボタンを押してください。
その後、ESCボタンを押して初期画面に戻ってください。

6 他の機能の設定

本機の操作を円滑に進めるために、次の6機能があります。



A HDRに接続中のカメラ映像をカメラ番号で呼び出す際に、自動的にHDRのメインモニターを切り換えることができます。（P31）

B 通信エラーメッセージをメニュー表示部に表示させることができます。（P31）

C 入力ミス時に警告ブザーを鳴らすことができます。（P32）

D Jスティックの設定や調整ができます。（P32）

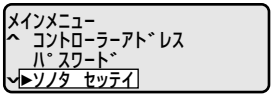
E メニュー表示部のコントラスト調整ができます。（P33）

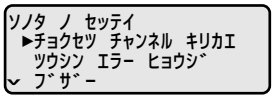
F 操作ボタンの動作テストができます。（P33）

A HDRに接続されているカメラ映像をカメラ番号で呼び出す際に、自動的にHDRのメインモニターを切り換える

① Jスティック（上下）で “ソノタ セッテイ” を選び、ENTERボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」を表示します。

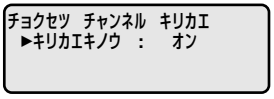




② Jスティック（上下）で “チョクセツ チャンネル キリカエ” を選び、ENTERボタンを押す

「チョクセツ チャンネル キリカエ」を表示します。

- Jスティック（右）：
  オン（自動的にモニターを切り換える）
- Jスティック（左）：
  オフ



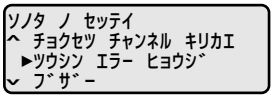
③ ESCボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」に戻ります。

B 通信エラーの表示をメニュー表示部に表示させる

① Jスティック（上下）で “ソノタ セッテイ” を選び、ENTERボタンを押す

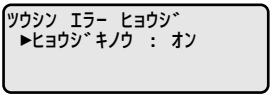
「ソノタ ノ セッテイ」を表示します。



② Jスティック（上下）で “ツウシン エラー ヒョウジ” を選び、ENTERボタンを押す

「ツウシン エラー ヒョウジ」を表示します。

- Jスティック（右）：
  オン（通信エラーを表示する）
- Jスティック（左）：
  オフ



③ ESCボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」に戻ります。

C 入力ミスなどに警告ブザーを鳴らす

① Jスティック（上下）で“ソノタ セッテイ”を選び、ENTERボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」を表示します。

```
ソノタ ノ セッテイ
^ チョクセツ チャンネル キリカエ
  ツウシン エラー ヒョウジ
v▶ﾌﾞｻﾞｰ
```

② Jスティック（上下）で“ブザー”を選び、ENTERボタンを押す

「ブザー」を表示します。

- Jスティック（右）：オン（ブザーが鳴る）
- Jスティック（左）：オフ

```
ﾌﾞｻﾞｰ
 ▶ﾌﾞｻﾞｰｷﾉｳ : オン
```

③ ESCボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」に戻ります。

D Jスティックの設定・調整をおこなう

① Jスティック（上下）で“ソノタ セッテイ”を選び、ENTERボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」を表示します。

```
ソノタ ノ セッテイ
^ ツウシン エラー ヒョウジ
  ﾌﾞｻﾞｰ
v▶ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ チョウセイ
```

② Jスティック（上下）で“ジョイスティック チョウセイ”を選び、ENTERボタンを押す

「ジョイスティック チョウセイ 1」を表示します。

```
ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ 1
  ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸﾖﾊﾅｼ
  ENTERｷｰﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
  ﾂｷﾞｯｸ...
```

③ ENTERボタンを押す

「ジョイスティック チョウセイ 2」を表示します。

```
ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ 2
  ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸﾖｻｲﾀﾞｲﾏﾃﾞ
  ﾀｵｼ360C°ﾏﾜｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

④ Jスティックを最大外周で一回りし、ENTERボタンを押す

```
ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ 2
X-0423 X0423 X+0521
Y-0531 Y0569 Y+0598
  ENTERｷｰﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

⑤ Jスティックを時計方向に回し、反時計方向に回す

```
ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ 3
  ｽﾞｰﾑﾚﾊﾞｰﾖﾄｹｲﾏﾜﾘ･
  ﾊﾝﾄｹｲﾏﾜﾘ ﾆﾏﾜｼ
```

↓

```
ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ 3
Z-0377 Z0693 Z+0693

  ENTERｷｰﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

⑥ ENTERボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」に戻ります。

E メニュー表示部のコントラスト調整をおこなう

① Jスティック（上下）で“ソノタ セッテイ”を選び、ENTERボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」を表示します。

```
ｿﾉﾀ ﾉ ｾｯﾃｲ
^ ﾌﾞｻﾞｰ
  ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ
v▶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｺﾝﾄﾗｽﾄ
```

② Jスティック（上下）で“ディスプレイ コントラスト”を選び、ENTERボタンを押す

「ディスプレイ コントラスト」を表示します。

```
ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｺﾝﾄﾗｽﾄ
+.ｱｯﾌﾟ
-.ﾀﾞｳﾝ
ESC ﾃﾞ ｼｭｳﾘｮｳ
```

③ ＋または－ボタンを押す

コントラストが調整されます。

④ ESCボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」に戻ります。

F 操作ボタンの動作テストをおこなう

① Jスティック（上下）で“ソノタ セッテイ”を選び、ENTERボタンを押す

「ソノタ ノ セッテイ」を表示します。

```
ｿﾉﾀ ﾉ ｾｯﾃｲ
^ ｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ ﾁｮｳｾｲ
  ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｺﾝﾄﾗｽﾄ
 ▶ｷｰﾃｽﾄ
```

② Jスティック（上下）で“キーテスト”を選び、ENTERボタンを押す

“スベテノキーヲ ハナシテクダサイ”のメッセージを表示後、動作テストが表示されます。

```
ｽﾍﾞﾃﾉｷｰｦ ﾊﾅｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｼｭｳﾘｮｳｽﾙﾆﾊ
SHIFT/SET/END ｦ
ﾄﾞｳｼﾞﾆ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

（動作テスト表示）

```
EC12345    123 MM
 CXHGIF    456  C 2
 PSTM  NF  789  S S
 BZ    OC  -0+ CE E
```

この表示は本機のボタン配置を記号または数字で表しています。（図1）

❶ EC12345：
E (ESC)、C (CODE)、1 (F1)、2 (F2)、3 (F3)、4 (F4)、5 (F5)

❷ CXHGIF：
C (CAM MENU)、X (AUX)、H (HOME)、G (GO TO PRESET)、I (IRIS C.)、F (A.FOCUS)

❸ PSTM：
P (PAN)、S (SEQ.)、T (TOUR)、M (PRESET MEMORY)

❹ BZ (ZOOM BACK/MAX)

❺ NF (FOCUS NEAR/FAR)

❻ OC (IRIS OPEN/CLOSE)

❼ M (MENU)

❽ M (DVR)

❾ C (CH/CAM)

❿ 2 (SHIFT)

⓫ S (SEQ)

⓬ S (SET)
⓭ C (CLEAR)
⓮ E (ENTER)
⓯ E (END)

③ テストする操作ボタンを押す

正常の場合：
ボタンの記号または数字が黒丸（●）になります。

異常の場合：
記号または数字は変わりません。

```
●●●●●45    123 MM
 CXHGIF     456  C 2
 PSTM  NF   789  S S
 BZ    OC   -0+ CE E
```

■ 終了および途中でキャンセルする場合

SHIFT、SET、ENDボタンを同時に押してください。

7 初期設定

1 Jスティック（上下）で“メニューリセット”を選び、ENTERボタンを押す

「セッテイナイヨウヲ ショキチニ モドシマスカ?」を表示します。

```
ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ
ﾍ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
  ｿﾉﾀ ｾｯﾃｲ
 ▶ﾒﾆｭｰﾘｾｯﾄ
```

```
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳﾇ
ｼｮｷﾁﾆ ﾓﾄﾞｼﾏｽｶ?

   MENU.ﾊｲ  ESC.ｲｲｴ
```

2 初期化の選択

- **MENUボタン**：初期設定になる
  確認の画面が表示しますので、MENUボタンを押してください。
- **ESCボタン**：初期化を中止するとき

```
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳﾇ
ｼｮｷﾁﾆ ﾓﾄﾞｼﾏｽｶ?

ｾｯﾃｲﾇ ｼｮｷｶ ｼﾃｲﾏｽ
```

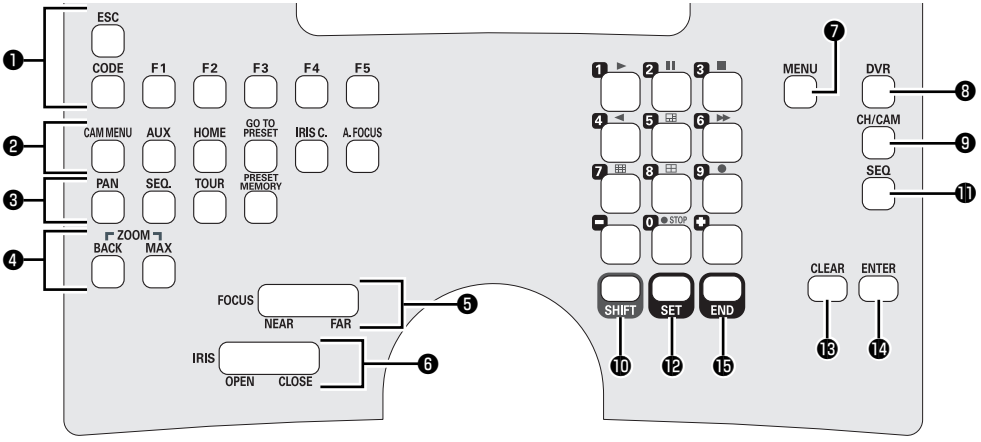
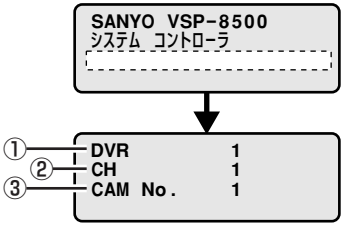


図1

■アドレスを設定する

電源が入ると、自動的にバージョン情報を表示後、初期表示になります。

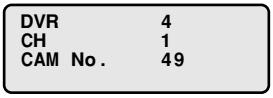


①HDRの接続番号
②HDRに接続されているカメラチャンネル
（16chタイプ：1～16）

③カメラ番号（初期値）

選択機器	操作可能なカメラ
DVR1	1(CH1)～16(CH16)
DVR2	17(CH1)～32(CH16)
DVR3	33(CH1～48(CH16)
DVR4	49(CH1)～64(CH16)
DVR5	65(CH1)～80(CH16)
DVR6	81(CH1)～96(CH16)
DVR7	97(CH1)～112(CH16)
DVR8	113(CH1)～127(CH15)

例：DVR4のチャンネル1のカメラ番号は49になります。

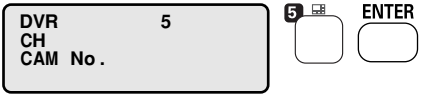


● カメラ番号を変更するには
“B カメラ番号に通信ラインとアドレスを割り当てる” をご参照ください。(P26)

1 DVRボタンを押す

数字がすべて消え、操作するHDRの選択が可能になります。

2 操作するHDR（例：数字ボタン5）を選び、ENTERボタンを押す



- 入力を間違えたときは、CLEARボタンを押して、もう一度入力してください。
- もう一度初めから入力し直す場合は、DVRボタンを押してください。

3 コマンドの選択

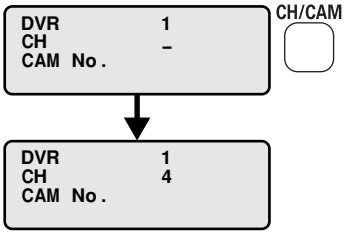
- **一般操作**
  詳しくは **“SHIFTボタンと組み合わせて操作する”** を参照ください。(P38)
- **メニュー選択と特殊操作**
  詳しくは **“SETボタンと組み合わせて操作する”** をご参照ください。(P39)

■HDRのチャンネルを切り換える

① 初期表示でCH/CAMボタンを押す

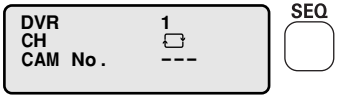
② 数字ボタンでチャンネル（例：4）を選び、ENTERボタンを押す

モニターが指定したチャンネルに切り換わります。



■モニター映像を自動的に切り換える

チャンネル設定した状態でSEQボタン押すと、表示チャンネルが“🔁”になり、モニターの映像が自動的に切り換わります。



●自動切換えをやめるときは

再度、CH/CAMボタンを押し、見たい映像の数字ボタンを押して、ENTERボタンを押してください。

■HDRのメニューを設定する

① SETボタンを押しながらMENUボタンを押す

モニターにHDRのメインメニューが表示されます。

② SETボタンを押しながらJスティック（上下）でメニューを選び、Jスティックを（右）にする

サブ画面が表示されます。

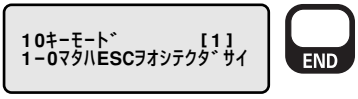
元の画面に戻るときはJスティックを（左）にしてください。

③ 終了するときは、SETボタンを押しながらESCボタンを押す

●HDRを操作中にモニターの右上に“K”マークが表示されている場合は、時刻設定などの数字入力が可能です。

① ENDボタンを押す

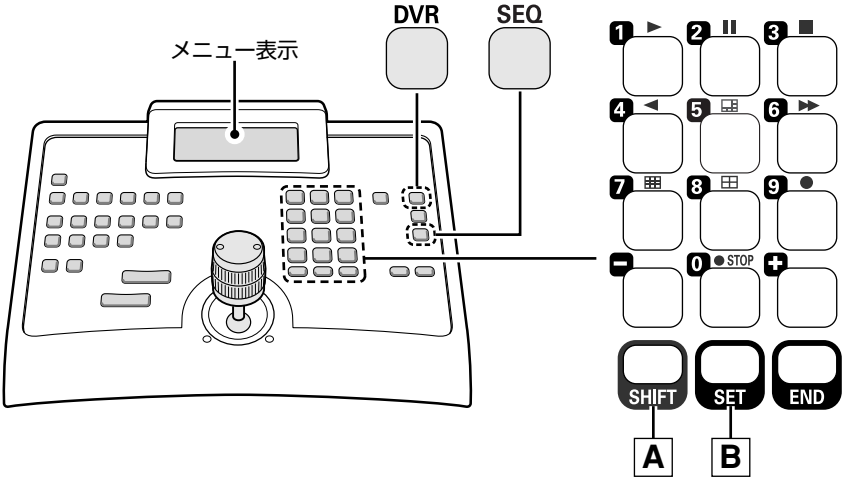
数字ボタンの入力が可能になります。



② 数字ボタンとJスティックで時刻などを入力し、設定の決定はJスティックを（右）にする

■本機からHDR操作ボタンで操作する

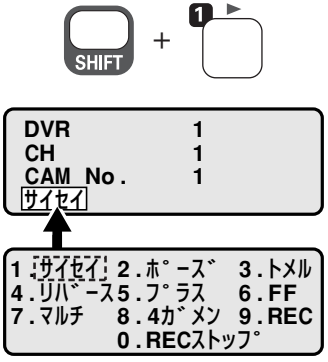
操作方法には次の2種類があります。



A SHIFTボタンと組み合わせて操作する（P38）

「SHIFT」ボタンを押した状態で、1〜0のボタンを押す

初期表示の最下段に押したボタンのコマンドを表示し、押したボタンの操作になります。（図1）
初期表示は約2秒で消えます。

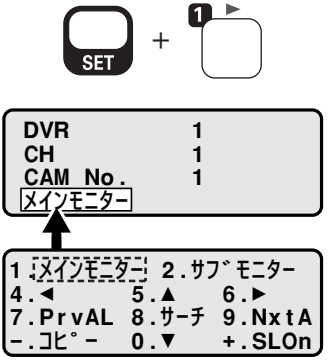


（図1）

B SETボタンと組み合わせて操作する（P39）

「SET」ボタンを押した状態で、1〜0または−、＋ボタンを押す

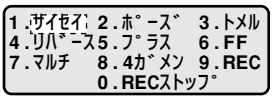
初期表示の最下段に押したボタンのコマンドを表示し、押したボタンの操作になります。（図2）
初期表示は約2秒で消えます。



（図2）

■SHIFTボタンと組み合わせて操作する

ボタンを押しながら数字ボタンを押す
操作状態はHDRやモニター画面で確認してください。



サイセイ：（サイセイ）
通常記録領域またはアラーム記録領域の映像を再生します。

イチジテイシ：（ポーズ）
再生中に押してください。静止画になります。もう一度押すと再生に戻ります。

静止画で押すと正方向のコマ送りになります。

静止画で押すと逆方向のコマ送りになります。

サイセイテイシ：（トメル）
再生を停止します。

ギャク サイセイ：（リバース）
再生中の映像を逆再生します。

再生中に押すと再生速度が早くなります。

再生中に押すと再生速度が遅くなります。

プラス ガメン：（プラス）
プラス画面を表示します。

サイセイスピードアップ：（FF）
再生中の映像を順方向に再生します。

再生中に押すと再生速度が早くなります。

再生中に押すと再生速度が遅くなります。

マルチガメン：（マルチ）
メインモニター画面を6分割、9分割または16分割で表示します。ハードディスクデジタルレコーダーのカメラ入力端子数により分割画面は異なります。

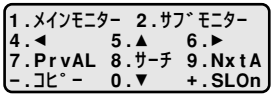
4ガメン：（4ガメン）
メインモニター画面を4分割で表示します。

キロク カイシ：（REC）
押すと録画開始表示がでます。
- 録画するときは **“ENTER”** ボタンを押す
- 録画をしないときは **“ESC”** ボタンを押す

キロク テイシ：（RECストップ）
押すと録画終了表示がでます。
- 録画を停止するときは **“ENTER”** ボタンを押す
- 録画を停止しないときは **“ESC”** ボタンを押す

■SETボタンと組み合わせて操作する

ボタンを押しながら数字ボタンなどを押す
操作状態はHDRやモニター画面で確認してください。



メインモニター：（メインモニター）
メインモニターを操作するときに押してください。

サブモニター：（サブモニター）
HDRのモニター2出力のチャンネルを数字ボタンで切り換えることができます。

ヒダリ：（◀）
メニューを選択するときにJスティックの代わりに使用します。カーソルが左に移動します。

ウエ：（▲）
メニューを選択するときにJスティックの代わりに使用します。カーソルが上に移動します。

ミギ：（▶）
メニューを選択するときにJスティックの代わりに使用します。カーソルが右に移動します。

マエノ アラーム：（PrvAL）
再生中、または一時停止中に押してください。一つ前のアラーム映像を再生します。

サーチ/シュウリョウ：（サーチ）
再生の停止中に押してください。
モニターにサーチ画面が表示されます。
Jスティック（上下）でサーチ再生する項目を選び、SETボタンを押しながらJスティックで項目の選択および変更をおこなってください。
終了するときは、もう一度SETを押しながらサーチ/シュウリョウボタンを押してください。

ツギノ アラーム：（NxtA）
再生中、または一時停止中に押してください。一つ後のアラーム映像を再生します。

コピー/シュウリョウ：（コピー）
通常記録領域やアラーム記録領域に記録された映像をバックアップ領域や外部メモリーなどにコピーできます。
コピーしたい記録領域を再生し、一時停止にしてコピー/シュウリョウボタンを押す
初期表示に戻るときは、もう一度、コピー/シュウリョウボタンを押してください。

外部メモリーへの記録は機種により異なります。

シタ：（▼）
メニューを選択するときにJスティックの代わりに使用します。カーソルが下に移動します。

セキュリティーロック オン：（SLOn）
HDRの操作をセキュリティーロックするときに押してください。
ただし、HDRでこの機能が設定されているときに可能です。

コノキノウハ シヨウデキマセン：
操作機能がありません。ESCボタンを押すと初期表示に戻ります。

■接続しているカメラの呼び出しかた

A HDRにカメラを接続している場合

チャンネル、カメラ番号の両方から呼び出せます。

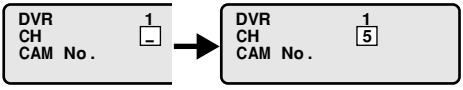
A-1 チャンネルから呼び出す

① CH/CAMボタンを押す

選択していたチャンネル/カメラ番号が消えて、CHのカーソルが点滅します。

② 数字ボタンでチャンネル（例：5）を表示させ、ENTERボタンを押す

モニター画面がカメラ5の映像になりカメラ操作が可能です。



A-2 カメラ番号から呼び出す

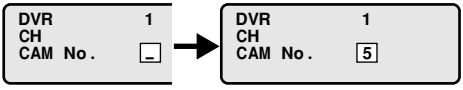
① CH/CAMボタンを2回押す

カーソルが “CAM No.” に移動します。

② 数字ボタンでカメラ番号（例：5）を表示させ、ENTERボタンを押す

モニター映像が、カメラ5の映像にかわり操作が可能になります。

自動的にモニターを切り換えないときは「**A HDRに接続されているカメラ映像をカメラ番号で呼び出す際に、自動的にHDRのメインモニターを切り換える**」をご参照ください。（P31）

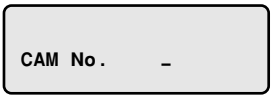


B カメラのみが接続されている場合

カメラ番号から呼び出します。

① CH/CAMボタンを押す

選択していたカメラ番号が消えて、カーソルが点滅します。

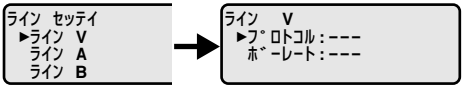


② 数字ボタンでカメラ番号（例：5）を表示させ、ENTERボタンを押す

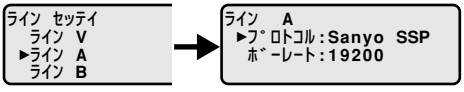
モニターがカメラ5の映像になりカメラ操作ができます。

例えば、各プロトコルは次のように設定されていなければ呼び出せません。（P24）

- ライン Vのプロトコルを “---” に設定

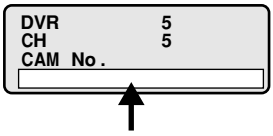


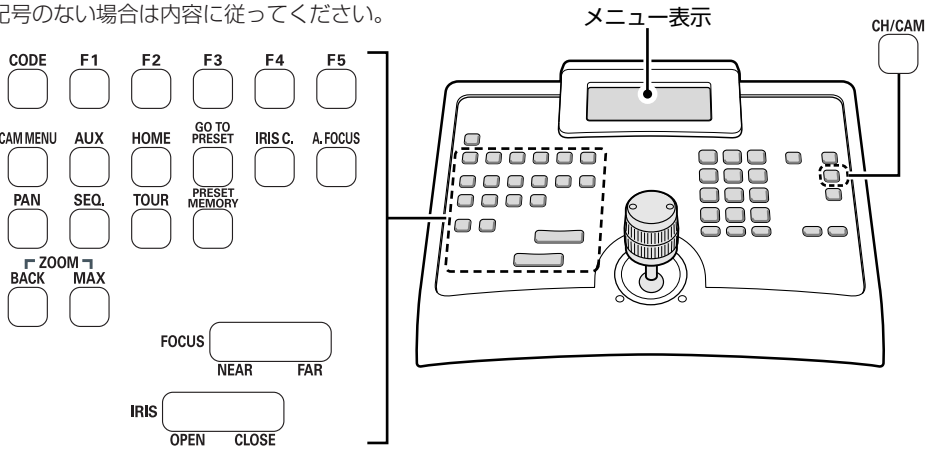
- ライン Aのプロトコルを “Sanyo SSP” に設定



■本機からJスティックとカメラ操作ボタンで操作する

- 一般的なパン・チルトなどのカメラ操作は、Jスティックでおこなってください。
- 各操作ボタンの名称の横には、⬆ 記号が表示されているのがあります。この記号のあるボタンを押すと、メニューの最下段にそのメニューのコマンドが表示され、そのボタンの動作になります。記号のない場合は内容に従ってください。





CODE

カメラ キノウ：
他社プロトコルのカメラを操作するときに使用します。ボタンを押すと、次のメニューを表示します。付録の**「特殊コード一覧表」**のコードを**「コード」**に入力してENTERボタンを押してください。

```
ｶﾒﾗ ｷﾉｳ

ｺｰﾄﾞ:_
     (1-9999)
```

F1

AUX 1 オン：⬆
AUX 1 にONコマンドを送信します。例えば、ボタンを押すと、**“AUX 1 オン”**と表示し、当社のデイナイトカメラの場合は、自動的にカラーモードになります。

F2

AUX 2 オン：⬆
AUX2にONコマンドを送信します。例えば、ボタンを押すと、**“AUX 2 オン”**と表示し、当社のデイナイトカメラの場合は、自動的に白黒モードになります。

F3

AUX 3 オン：⬆
AUX3にONコマンドを送信します。例えば、ボタンを押すと、**“AUX 3 オン”**と表示し、当社のデイナイトカメラの場合は、オートモードになります。

F4 **F5**

コマンド機能はありません。ボタンを押すと次のメニューを表示しますので、ESCボタンを押してください。

```
ｺﾉｷﾉｳﾊ ｼﾖｳﾃﾞｷﾏｾﾝ
ESC ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

CAM MENU

SHIFT/ESC デ シュウリョウ：⇧
カメラのメニューが表示されます。メニューを消すときは同時にSHIFTとESCボタンを押す（モデルVCC-9500、9600、9700、9800のみ可能です）

AUX

AUXキノウ：
そのほかの機能をオンにします。もう一度ボタンを押すと“AUX オフ”になります。オンもしくはオフの状態で番号を入力しENTERボタンを押してください。ESCボタンを押すと初期表示に戻ります。（当社AUXコマンド一覧表をご参照ください。P52）

```
AUX ｷﾉｳ
 AUX ｵﾝ : _
          (1-16)
ESC ﾃﾞ ﾓﾄﾞﾙ
```

HOME

プリセット 1 ヨビダシ：⇧
プリセット1（初期値）へカメラを移動します。

GO TO PRESET

プリセット ヨビダシ：
ボタンを押してプリセット番号を入力し、ENTERボタンを押すと、選択した位置にカメラを移動します。ESCボタンを押すと初期表示に戻ります。

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
 ﾊﾞﾝｺﾞｳ : _
          (1-255)
ESC ﾃﾞ ﾓﾄﾞﾙ
```

IRIS C.

アイリス センター：⇧
アイリスレベルをセンターの位置に戻します。

A.FOCUS

オート フォーカス：⇧
フォーカスがずれているときにボタンを押すと、ワンタッチでピントを合わせることができます。

PAN

オート パン スタート：
オートパンがスタートします。他の操作をおこなうとオートパンを解除します。

SEQ.

シーケンス スタート：⇧
プリセットした位置をシーケンシャルパンします。他の操作をおこなうとシーケンシャルパンを解除します。

TOUR

ツアー スタート：⇧
ツアー動作になります。他の操作をおこなうとツアーを解除します。

PRESET MEMORY

プリセット トウロク：
プリセットする被写体を選んでからボタンを押す。メニューが表示されますので、プリセット番号を入力してENTERボタンを押す。

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾄｳﾛｸ
 ﾊﾞﾝｺﾞｳ : _
          (1-255)
ESC ﾃﾞ ﾓﾄﾞﾙ
```

BACK

ズーム モドル：⇧
テレ側最大の位置へズーミングした後、ズーミングを開始した位置に戻ります。

MAX

ズーム サイダイ：⇧
ズーミングをテレ側最大にします。

FOCUS　NEAR　FAR

フォーカス ニアー/ファー：⇧
- フォーカス ニアー：
  近くの被写体にピントを合わせます。
- フォーカス ファー：
  遠くの被写体にピントを合わせます。

IRIS　OPEN　CLOSE

アイリス オープン/クローズ：⇧
- アイリス オープン：
  アイリスレベルを開放側にします。
- アイリス クローズ：
  アイリスレベルを絞る方向にします。

■PTZカメラのパン・シーケンス・ツアーを操作する

PTZカメラのパン、シーケンス、ツアー操作で予め設定されたポジションを選んで操作できます。

本操作は、次の機種にあらかじめ動作登録されている場合に限定されます。

- VCC-9500
- VCC-9600
- VCC-9700
- VCC-9800

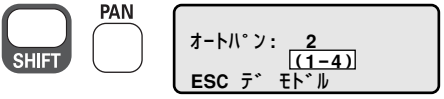
▶パンの操作（選択：1～4）

1 SHIFTボタンを押した状態で、PANボタンを押す

“オートパン”のメニューが表示されます。

2 数字ボタン（例：2）を押して、ENTERボタンを押す

選択した数字に記憶されたパン動作になります。



▶シーケンスの操作（選択：1～4）

1 SHIFTボタンを押した状態で、SEQボタンを押す

“シーケンス”のメニューが表示されます。

2 数字ボタン（例：3）を押して、ENTERボタンを押す

選択した数字に記憶されたシーケンス動作になります。

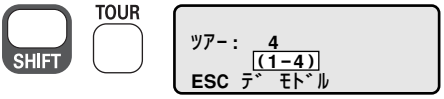
▶ツアーの操作（選択：1～4）

1 SHIFTボタンを押した状態で、TOURボタンを押す

“ツアー”のメニューが表示されます。

2 数字ボタン（例：4）を押して、ENTERボタンを押す

選択した数字に記憶されたツアー動作になります



- 初期表示に戻るときは、ESCボタンを押してください。

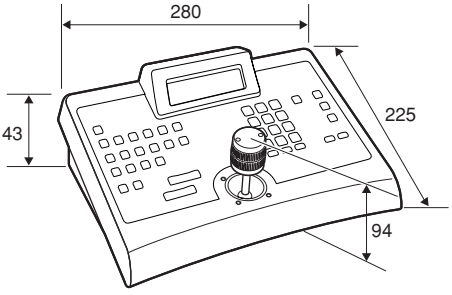
仕様

通信方式	RS485
キーボード	42キー
ジョイスティック（Jスティック）	3軸ジョイスティック（パン・チルト・ズーム）
コントロール端子	RJ-11端子：VIDEO×1、TELEMETRY×2
パソコンRS-232C端子	RS-232C D-SUB（9ピン）端子
ディップスイッチ	●通常モード／パソコンモード：1ビットディップスイッチ ●終端：3ビットディップスイッチ（映像／カメラA/B）
通信速度	2400、4800、9600、19200 bps
最大接続機器数	総数：256台 ●コントローラー：5台 ●ハードディスクデジタルレコーダー：合計98台 ●PTZカメラ、CCDカメラ：TELEMETRY A 127台 TELEMETRY B 127台 ●マトリクスSW（Videotec SM328S）：1台
使用条件	温度：5℃～40℃ 湿度：80%以下
保存条件	温度：−20℃～60℃ 湿度：80%以下
電源 （ACアダプター）	入力電圧：100～240 VAC　50／60Hz
	出力電圧：12 VDC
消費電流	1A
質量	900 g

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

■外形寸法図

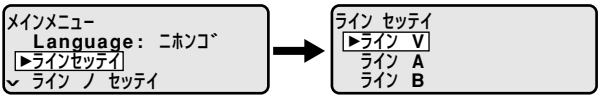
（単位：mm）



付録

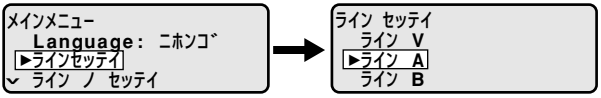
■通信設定一覧表

Line V（映像通信）



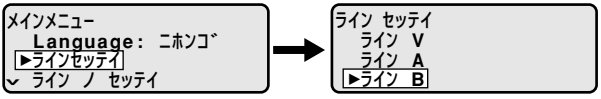
	プロトコル（Protocol）	通信速度（Baudrate）
1	Sanyo SSP	**19200**
2	---	---

Line A（カメラ通信）



	プロトコル（Protocol）	通信速度（Baudrate）
1	Video	---
2	Sanyo SSP	1200/2400/4800/9600/**19200**
3	SanyoHSSP	1200/2400/4800/9600/**19200**
4	Macro	1200/**9600**/19200/38400
5	Ernitec	1200/**2400**/4800/9600/19200
6	Mark Merc	2400/4800/**9600**/19200
7	Pelco D	**2400**/4800/9600/19200
8	Sensorm.	1200/2400/**4800**/9600/19200
9	Vcl	1200/2400/4800/**9600**/19200
10	Videotec	1200/**9600**
11	---	---

Line B（カメラ通信）



	プロトコル（Protocol）	通信速度（Baudrate）
1	Sanyo SSP	1200/2400/4800/9600/**19200**
2	SanyoHSSP	1200/2400/4800/9600/**19200**
3	Macro	1200/**9600**/19200/38400
4	Ernitec	1200/**2400**/4800/9600/19200
5	Mark Merc	2400/4800/**9600**/19200
6	Pelco D	**2400**/4800/9600/19200
7	Sensorm.	1200/2400/**4800**/9600/19200
8	Vcl	1200/2400/4800/**9600**/19200
9	Videotec	1200/**9600**
10	Video	---
11	---	---

●太字は初期値です

■特殊コード一覧表

特殊コードを入力することで機能を呼び出すことができます。。

ERNITEC SATURN..... 46
MARK MERCER..... 47
PELCO..... 49
SENSORMATIC..... 51

●ERNITEC SATURN

コード	機能
AUTOPAN	
301	一番目のリミット・スイッチの現在位置を保存します。
302	二番目のリミット・スイッチの現在位置を保存します。
XXX	XXX = 0～255：オートパン速度 (0=最小、255=最大) 注意：Saturn型では利用できません。
PATROL	
1000	巡回順序を削除します。
1XXX	XXX = 1～128：巡回順序にプリセットポジション “XXX” を書き込みます。
2000 2XXX	巡回順序を有効にします。 X = 001～128：巡回順序からプリセットポジション “XXX” を削除します。
3XXX	X = 000～255：所定位置に到達した際の滞留時間(秒単位) 例：**“1000”** 先に定義された順序を削除します。 **“1001”** 順序にプリセットポジション “1” を書き込みます。 **“1005”** 順序にプリセットポジション “5” を書き込みます。 **“1006”** 順序にプリセットポジション “6” を書き込みます。 **“2005”** プリセットポジション “5” を削除します。
OTHER FUNCTIONS	
4XXY	設定停止時間後、「リターンポジション」に自動的に動くようにドームカメラを設定できます。 XX = 01～99：「リターンポジション」(No.100からNo.128の位置は選択できません) Y = 0～9：リターン時間 0：10秒、1：20秒、 2：30秒、 3：40秒、 4：1分、 5：2分、 6：5分、 7：10分、 8：20分、 9：40分
4000	「リターンポジション」への移動を無効にします。 例： **“4216”** ：停止5分後(Y=6)に位置21(XX=21)へ移動します。
400	テキストの表示/非表示(切り替え)
500	逆光補正ON/OFF(切り替え)
9999	ドームカメラ内部メモリーを初期化します。

● MARK MERCER

コード	機能
IRIS MANUAL	
11	絞りを開けます。
12	絞りを閉じます。
ON SCREEN DISPLAY	
21	画面表示 ON
22	画面表示 OFF
23	モニター上半分に画面表示
24	モニター下半分に画面表示
INFRARED RESPONSE CURVES	
31	初期設定曲線(可視光)
32	950nm曲線
33	850nm曲線
COLOUR/B&W CAMERA	
40	カラーから白黒、白黒からカラーへの自動切り替え。
41	白黒カメラ
42	カラーカメラ
43	カメラ・インテグレーション・レベルを落とします(シャッター速度を落とす)。
44	カメラ・インテグレーション・レベルを上げます(シャッター速度を上げる)。
45	ゼロルクスON(赤外線フィルターOFF)
46	ゼロルクスOFF(赤外線フィルターON)
	レベルを切り替える
47	明るく
48	初期設定値
49	暗く
PRIVACY ZONE	
51	全区域ON
52	全区域OFF
53	区域定義カーソルを切り替えます(ON/OFF)。
54	カーソルの状態によってマスキング(ON/OFF)を切り替えます。 **カーソルON**：このコードにより、カーソル上に小さなマスキングを掛けることができます。コードを再度送るとマスキングの種類が変わります。 **カーソルOFF**：このコードにより、画面全体にマスクを掛ける事ができます。コードを再度送るとマスキングを解除します。
DYNAMIC CONTROL OF ZONE TITLING	
61	表題を切り替えます(ON/OFF)。
62	区域を消去します。
63	区域を初期化します。
DIGITAL ZOOM	
6	デジタルズームを切り替えます(ON/OFF)。
1XX	XX = 01～99：デジタルズームの値(この機能がドームカメラで利用できる場合)

コード	機能
TOGGLE AUTO PARK (ON/OFF)	
2XX	所定の停止間隔後、自動的にプリセットポジションNo.1に動くようにドームカメラを設定できます。 XX = 01～99(*)：自動停止前の待機時間(分) (*) 待機時間XX=00の場合には機能を無効にします。 例：“205” 5分(XX=05)待機後に自動停止 “200” 自動停止OFF(XX=00)
TOGGLE AUTO PATROL (ON/OFF)	
1XXY	所定停止時間後、指定巡回順序を開始するようにドームカメラ設定可能です。 XX = 01～99(*)：自動巡回前の待機時間(分) Y = 0～5：巡回番号 (*) 待機時間XX=00の場合には機能を無効にします。 例：“1153” No.3(Y=3)の巡回順序で15分後(XX=15)に自動巡回します。 “1003” 自動巡回OFF(XX=00)
OTHERS	
0	全位置を巡回
1	自動Uターンを切り替えます(ON/OFF)。
2	Aux 1 ON
3	Aux 1 OFF
7	搭載アラーム：ON
8	搭載アラーム：OFF
10	Uターン

● PELCO

コード	機能
0	パン0の位置
SPEED CURVES	
11	第1速度曲線(速度値：1, 5, 10, 20, 30, 45, 63).
12	第2速度曲線(速度値：1,10, 20, 30, 40, 50, 63).
13	第3速度曲線(速度値：10, 15, 20, 25, 30, 45, 63).
14	第4速度曲線(初期設定)(速度値：29, 37, 45, 50, 55. 59, 63).
15	第5速度曲線(速度値：10, 15, 20, 30, 40, 50, 63).
16	第6速度曲線(ユーザーがカスタマイズできますが、初期設定値があります： 10, 15, 20, 30, 55, 100, 255). (*)
8XXX	XXX = 000～255：速度値 (*)
900X	X = 1～7：速度番号。値を割り当てられます。
910X	X = 1～7：番号Xの一定速度でのドームカメラ動作テスト。 テストを停止するにはジョイスティックを動かしてください。 例：“8007”： 7(X=007)に等しい速度値 “9001”： 7の速度値が速度No.1 (X=1)に割り当てられます。 …速度No.2、3、4、5、6等に速度値を書き込みます。 “8138”：138(X=138)の速度値 “9007”：138の速度値が速度No.7(X=7)に割り当てられます。 次に速度No.7をテストしたい場合： “9107”：138(X=7)の一定速度でドームカメラが動きます。 “16”： 今後はジョイスティックを動かす毎に、ユーザーが第6速度曲線 (X=16)に割り当てた速度でドームカメラが動きます。
(*) Pelco Dプロトコールでは最高速度時に63の数値を受け入れます。より高い速度が設定されている場合には、正しい操作を保証できません。	
ZONE	
20	区域のSCANを開始します。
21	区域のSCANを終了します。
10X	X = 1～8：区域の開始を設定します。
20X	X = 1～8：区域の終了を設定します。
LENSES	
40	オートフォーカスON
41	オートフォーカスOFF
42	自動的にオートフォーカスON
AUTOIRIS	
50	自動絞りON
51	自動絞りOFF
52	自動的に自動絞りON
ON SCREEN INFORMATION	
60	自動利得制御装置 ON
61	自動利得制御装置 OFF
62	自動利得制御装置 自動

コード	機能
ALARMS	
X	アラーム認識(Xは1～8)
MISC	
99	画面を清掃します。
999	カメラ遠隔操作を初期化します(パン/チルト)
9999	カメラ遠隔操作を初期化します(初期設定値)
70	逆光補正ON
71	逆光補正OFF
80	ホワイトバランスON
81	ホワイトバランスOFF
90	「装置位相遅延モード」を有効にします。
3X	X = 1～8：ズーム速度
13X	X = 1～8：フォーカス速度
1000(*)	シャッター速度
1001(*)	ラインロック・レベル
1002(*)	ホワイトバランスR-B調節
1003(*)	ホワイトバランスM-G調節
1004(*)	利得
1005(*)	自動絞りレベル
1006(*)	自動絞り頂点
(*) コード書き込み後、0から4000の間の数値を導入する必要があります。	

● **SENSORMATIC**

コード	機能
RELAYS	
0	全リレーOFF
1	リレー1 ON
2	リレー2 ON
3	リレー3 ON
4	リレー4 ON
12	リレー1と2 ON
13	リレー1と3 ON
14	リレー1と4 ON
23	リレー2と3 ON
24	リレー2と4 ON
34	リレー3と4 ON
123	リレー1、2および3 ON
124	リレー1、2および4 ON
134	リレー1、3および4 ON
234	リレー2、3および4 ON
1234	リレー1、2、3および4 ON 例：**“13”**：リレー1と3だけを有効にします(リレー2と4は無効です)。 **“134”**：リレー1、3および4だけを有効にします(リレー2は無効です)。
PATTERN	
51	収集パターン1を開始します。
52	収集パターン1を開始します。
53	収集パターン1を開始します。
55	新しいパターンを確認して、以前に定義した物と置き換えます。
56	パターン収集の終了。
61	パターン1を開始します。
62	パターン2を開始します。
63	パターン3を開始します。
71	パターン1を削除します。
72	パターン2を削除します。
73	パターン3を削除します。 例：パターン2の定義： **“72”**：古いパターン2を削除します(Walk Patrol nr.の録画コマンドと関連しています)。 **“52”**：パターン2の収集を開始します。表示限度内でドームカメラは移動します。 **“56”**：収集を終了します。 **“55”**：古いパターンを新しい記録に置き換えます。 **“62”**：パターン2を開始します。
MISC.	
9999	遠隔操作カメラの初期化

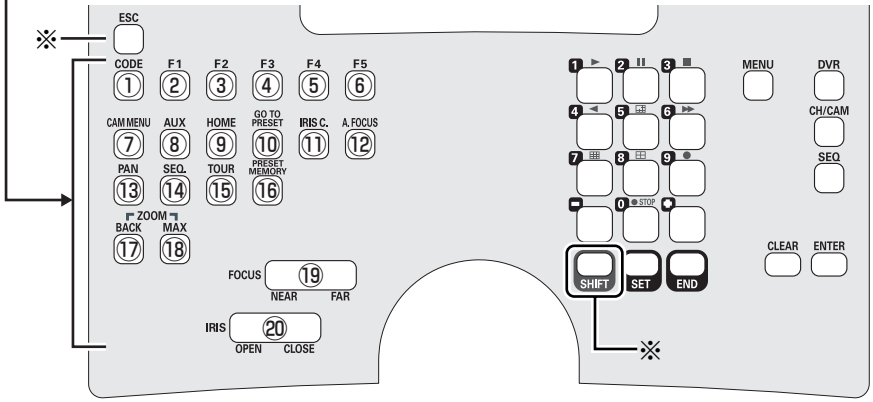
■当社カメラAUXコマンド一覧表

AUX コマンド	ON	OFF	働き
1	Switch to Color Mode	Pan/Tilt control 1	Day/Nightカメラをカラーモードに切り替えます。
2	Switch to B/W Mode	Pan/Tilt control 2	Day/Nightカメラを白黒モードに切り替えます。
3	Switch to Day/Night Auto Mode	Pan/Tilt control 3	Day/NightカメラをDay/Night オートモードに切り替えます。
4	AUTO RETURN Function ON	AUTO RETURN Function OFF	Auto Return 機能の説明については、取説をご参照ください。
5	GLOBAL ADDRESS Function ON	GLOBAL ADDRESS Function OFF	Pelco-D専用です。アドレス99で全カメラがコマンドを受けて動作が可能になります。
6	REMOTE SET	REMOTE RESET	アラーム出力2をREMOTEに設定した場合のみ有効です。詳細は、取説をご参照ください。
7	—	—	—
8	ALARM DISABLE Function ON	ALARM DISABLE Function OFF	PTZカメラを操作中及び操作後、設定時間内はアラームを受け付けません。Alarm Disable機能の説明については、取説をご参照ください。
9	AUTO PURSUIT Function ON	AUTO PURSUIT Function OFF	VCC-9700, 9800 シリーズのみ。自動追尾機能の説明は、取説をご参照ください。

上記は、カメラVCC-9500, 9600, 9700, 9800 のコマンド例です。
AUXコマンド1,2,3は、Day/Night タイプのズームカメラシリーズにも有効です。

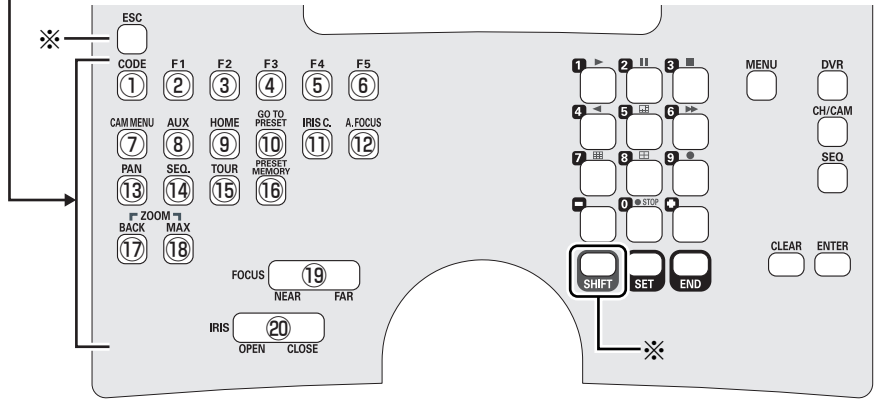
■カメラキーコマンド一覧表 ①

	Key	Sanyo	Macro	Vcl	Ernitec
①	CODE	–	–	–	Yes
②	F1	Aux1 On	Aux+1	Aux1 On	Aux1 On
③	F2	Aux2 On	Aux+2	–	Aux2 On
④	F3	Aux3 On	Aux+3	–	Aux3 On
⑤	F4	–	F4No	–	–
⑥	F5	–	F5No	–	–
⑦	CAM MENU	Yes	Men+	–	Special Mode
※	SHIFT + ESC	Exit CAM OSD	Men-	–	–
⑧	AUX	Aux On 1-16	Aux+ 1/4	Aux On 1	Aux On 1-8
⑧	AUX + AUX	Aux Off 1-16	Aux- 1/4	Aux Off 1	Aux Off 1-8
⑨	HOME	Goto Preset 1	Hom+	Goto Preset 1	Goto Preset 1
⑩	GOTO PRESET	Goto Preset 1-255	Go to Preset 1/250	Goto Preset 0-127	Goto Preset 1-128
⑪	IRIS CENTER	Yes	IriD	–	–
⑫	AUTO FOCUS ON	Yes	Afo+	Yes	Yes
⑬	PAN	Autopan Start	Autopan Start Apa+	Autopan Start	Yes
※	SHIFT + PAN	Pan pattern 1-4	–	–	–
⑭	SEQ	Sequence Start	Patrol Std Start Pat+	–	–
※	SHIFT + SEQ	Seq pattern 1-4	Patrol Std Set (menu)	–	–
⑮	TOUR	Tour Start	Patrol S.A. Start PaV+	Tour Start 1-4	Patrol Start
※	SHIFT+ TOUR	Tour Pattern 1-4	Patrol S.A. Set (menu)	Tour Setup 1-4	–
⑯	PRESET MEMORY	Preset Mem 1-255	Pre+ 1/250	Preset Mem 0-127	Preset Mem 1-128
⑰	ZOOM BACK	Yes	ZooB	–	–
⑱	MAX ZOOM	Yes	ZooM	–	–
⑲	FOCUS NEAR/FAR	Yes	Yes	Yes	Yes
⑳	IRIS OPEN/CLOSE	Yes	Yes	Yes	Yes



■カメラキーコマンド一覧表 ②

	Key	MarkM	PelcoD	Sensorm	Videotec
①	CODE	Yes	Yes	Yes	–
②	F1	Aux1 On	Aux1 On	–	–
③	F2	Aux2 On	Aux2 On	–	–
④	F3	Aux3 On	Aux3 On	–	–
⑤	F4	–	–	–	–
⑥	F5	–	–	–	–
⑦	CAM MENU	–	–	Yes	–
※	SHIFT + ESC	–	–	Yes	–
⑧	AUX	Aux On 1-4	Aux On 1-8	Aux On 1-4	Aux On 1-4
⑧	AUX + AUX	Aux Off 1-4	Aux Off 1-8	Aux Off 1-4	Aux Off 1-4
⑨	HOME	Goto Preset 1	Goto Preset 1	Goto Preset 1	Goto Preset 1
⑩	GOTO PRESET	Goto Preset 1-250	Goto Preset 1-254	Goto Preset 0-95	Goto Preset 1-127
⑪	IRIS CENTER	–	–	–	–
⑫	AUTO FOCUS ON	–	Yes	Yes	–
⑬	PAN	–	Pattern Start	Pattern 1 Start	Autopan Toggle
※	SHIFT + PAN	–	Pattern Definition Start	–	Autopan Start
⑭	SEQ	–	–	Pattern 2 Start	Patrol Std Start
※	SHIFT + SEQ	–	–	–	Patrol Std Set (menu)
⑮	TOUR	–	–	Pattern 3 Start	Patrol S.A. Start
※	SHIFT+ TOUR	–	–	–	Patrol S.A. Set (menu)
⑯	PRESET MEMORY	Preset Mem 1-250	Preset Mem 1-254	Preset Mem 0-95	Preset Mem 1-127
⑰	ZOOM BACK	–	–	–	–
⑱	MAX ZOOM	–	–	–	–
⑲	FOCUS NEAR/FAR	Yes	Yes	Yes	Yes
⑳	IRIS OPEN/CLOSE	Yes	Yes	Yes	Yes



修理相談窓口　三洋コンシューママーケティング株式会社

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

受付時間：月曜日～金曜日　9：00 ～ 18：30
土曜・日曜・祝日　9：00 ～ 17：30

◆ 東コールセンター

関東・甲信越地区	東　京 福　島 新　潟 長　野	☎ 050−3116−2222 ☎ 東京(03)5302−3401
北海道地区	札　幌	☎ 050−3116−2333
東北地区	宮　城	☎ 050−3116−2444

◆ 西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	大　阪 金　沢 高　松	☎ 050−3116−2555 ☎ 大阪(06)4250−8400
中部地区	名古屋	☎ 050−3116−2666
中国地区	広　島	☎ 050−3116−2777
九州地区	福　岡	☎ 050−3116−2888

沖縄地区	沖　縄	☎ 098−944−5018

・受付時間　月曜日～土曜日　9:00～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞

- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせなどのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　)　−

三洋電機株式会社
国内マーケティング本部
マーケティング統括部　システム商品企画部
〒110-8534　東京都台東区上野1丁目1番10号　☎ 東京（03）6364-3463

三洋電機株式会社
パーソナルモバイルグループ
DIカンパニー　DCS事業推進部　DS商品部
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号　☎ 大東（072）870-6277

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

1AC6P1P3169--
L8CSD/JP (0407KR-VT)